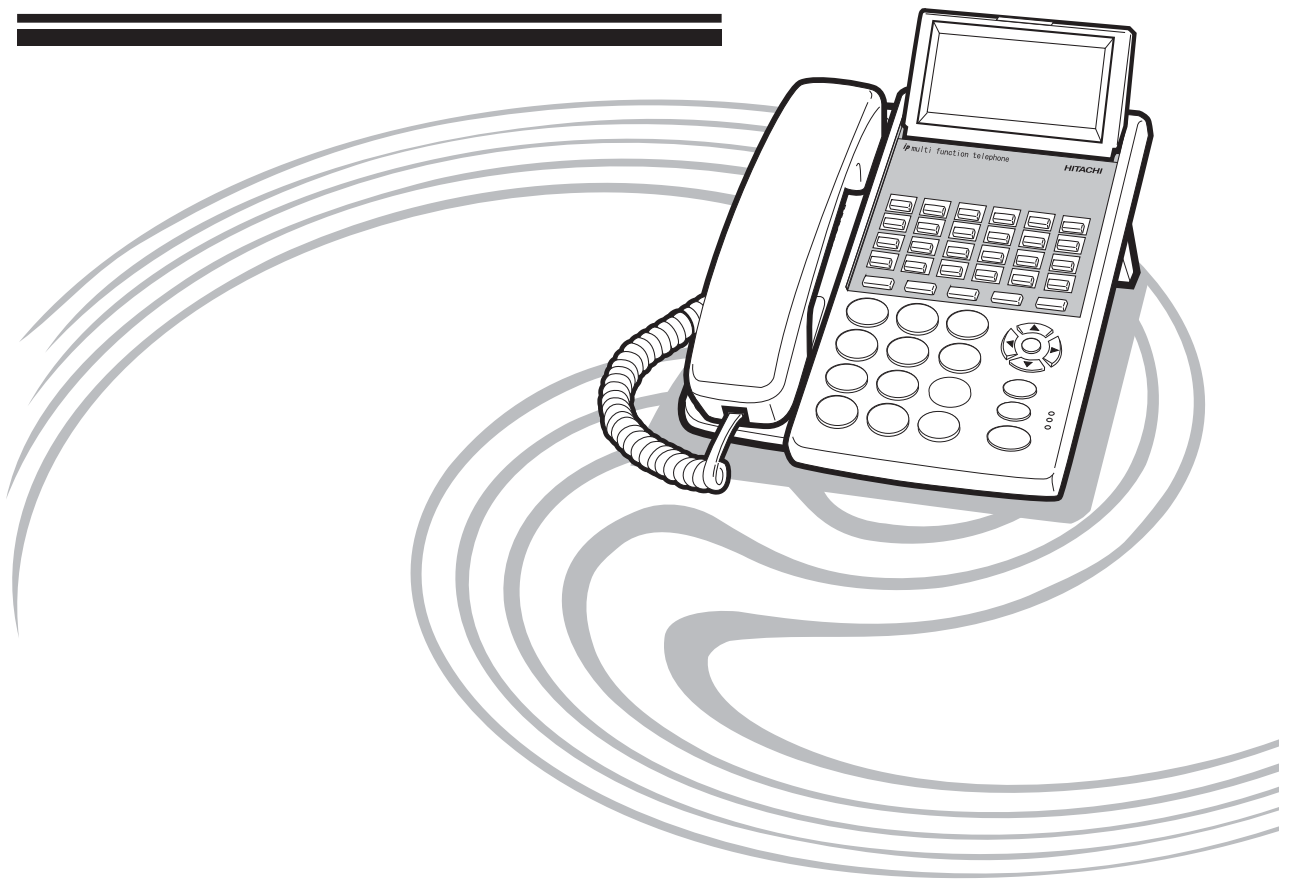


*IP*多機能電話機

IP-D-TEL



このたびは、IP多機能電話機IP-D-TELをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。



- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとも、いつでも見られる場所においてお使いください。

ご使用前に





この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただきあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物理的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の意味は次のようになっています。

	△記号は注意(警告も含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は「感電注意」です)。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています(左図の場合は「分解禁止」です)。
 	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています(左図、上の場合は「電源プラグをコンセントから抜け」、下の場合は「必ず実施」です)。

- 本製品はクラスA情報技術装置です。本製品を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のミニWnnを使用しています。
"Mini Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd.2000-2003 All Rights Reserved.

安全のために必ずお守りください

■異常時の処置について

警告

- ❗ 万一、内部に水などが入った場合は、回線のモジュージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- ❗ 万一、内部に異物が入った場合は、回線のモジュージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

- ❗ 万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに回線のモジュージャックをはずし、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- ❗ 万一、電話機を落としたり、ケースを破損した場合は、回線のモジュージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

■取扱いについて

警告

- 🚫 電話機に水が入ったりしないよう、まためらさないようご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
- 🚫 電話機の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 🚫 すきま等から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 🚫 電話機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

- 🚫 めれた手で電話機を操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 🚫 回線コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると回線コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 🚫 電話機裏面にコードを接続する場合、あやまってハンドセットのコードをLANまたはPCに接続しないでください。回線電圧が受話器にかかって火災・感電・故障の原因となります。
- 🚫 電話機にはアルミ電解コンデンサを使用しており、仕様温度の上限でご使用いただいた場合、設計寿命が7年となっております。7年を越えてのご使用は危険ですのでおやめください。

■取扱いについて











注意

- 🚫 電話機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- ❗ 移動させる場合は、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 🚫 寒い場所から暖かい場所に移さないでください。通内部に水滴が付くことがあります。結露したまま使用すると故障の原因となります。

- 🚫 回線コードなどを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ⚠️ 壁掛け式で使用する場合は、落下しないように注意してください。けがの原因となることがあります。
- ❗ 本製品を廃棄時は、販売店にご相談ください。




■設置場所について

 警告

-  直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
-  湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。
-  壁掛け式にする場合は、電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付けてください。けがの原因となることがあります。
-  振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
-  テレビ、ラジオ、アンプ、スピーカボックスなど磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。また、テレビ局、ラジオ局などの近くやノイズを発生する大型溶接機器などの近くに設置しないでください。正常に動作しないことがあります。
-  製氷倉庫の中など、特に温度の下がる場所に置かないでください。正常に動作しないことがあります。
-  パソコンなど、熱を発する機器の上や近くには置かないでください。製品寿命が短くなる原因となります。
-  接地部分にゴムを取付けています。ゴムとの接触面がまれに変色することがありますのでご注意ください。

■お手入れについて

 注意

-  静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。火災・故障の原因となります。
-  アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。
-  汚れがひどいときはうすい中性洗剤をつけた布をかたくしぼって拭き、その後かわいた布でもう一度、からぶきしてください。洗剤や水をスプレーなどで直接かけるようなことはしないでください。故障の原因となります。

ご使用にあたって

本製品使用時の留意点について

- 重要な内容(登録した方の名前や電話番号など)は必ず紙などに控えておいてください。
- 本電話機は、使用方法を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、また、故障したときや修理するときなどに記憶内容が変化・消失することがあります。
- ハンドセットのマイク側に臭い消しを付ける場合は、できるだけ薄いもの(約0.5mm)をご使用ください。厚めのもものはハンドセットを戻しても電話が切れなくなることがあります。
- 使用中の携帯電話を、この電話機に近づけると通話にノイズが入ることがあります。
- 本電話機の設置には、工事担任者資格が必要です。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対にやめください。
- 本電話機は、別売品の給電機能付きHUBまたはACアダプタが必要です。別途お買い求めください。
- IPMFT連動機能を利用しているときに、IP多機能電話機の電源OFF/ONやリセットを行った場合は、PC上のPC-IPソフトがIP多機能電話機と通信ができなくなるために連動機能は解除されます。IP多機能電話機がログインした後にPC-IPフォンを再起動させてください。

純粋経済損害について

- 本電話機の故障、誤操作、不具合あるいは停電等の外部要因などにより、利用の機会を逸したために発生した純粋経済損害および記憶内容が正しく保存、呼び出しができないことにより発生した付随的損害の保証につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

サービス機能の利用にあたって

- 本説明書中のサービス機能によっては、販売店によるデータ設定および、機器の追加が必要となるものがあります。販売店に確認してください。

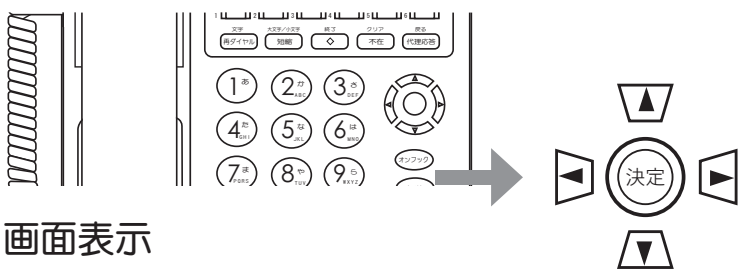
取扱説明書について

- ご使用前に本書および電話機に同梱されている簡易取扱説明書をお読みください。
- 取扱説明書をお読みになったあとも、いつでも見られる場所に置いてお使いください。なお本書を紛失したり破損したりして読めなくなった場合は、お買い上げの販売店にてお求めください。

記載表示について

■ 十字ボタン

本書では、十字ボタンの図を下記のように簡略化しています。

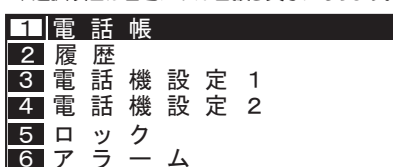


■ 画面表示

本書で記載されている画面は、実際の画面とは異なります。

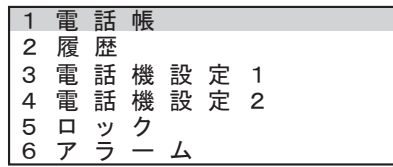
■ 実際の画面

選択した項目(1 電話帳)が白抜き文字になり、未選択項目は番号だけが白抜き文字になります。



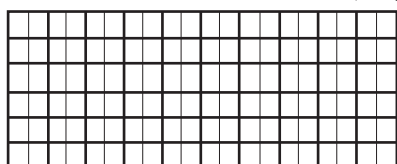
■ 本書での表記

選択した項目は網掛け表記に置き換えております。



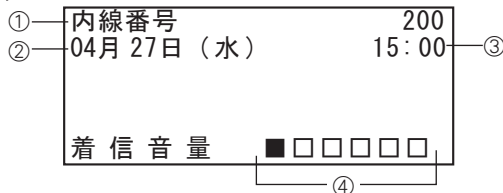
画面の文字数と待機表示画面は次のとおりです。

文字数表示



列：全角10文字 半角20文字
行：6行

待機画面



- ① 内線番号
- ② 月日(曜日)
- ③ 時刻
- ④ 着信音量
最小：■■■■■
最大：■■■■■

目次

● ご使用の前に	2
● 安全のために必ずお守りください	3
● ご使用にあたって	5
● 目次	6
● 電話機の種類	9
● 各部の名称と機能	10
● 電話機の接続について	12

第1章

基本操作

外線	
● 受話器を上げてかける(オフフックダイヤル)	14
● 受話器を置いたままかける(オンフックダイヤル)	14
● システム短縮ダイヤルでかける(システム短縮ダイヤル)	14
● 可変短縮ダイヤルでかける(可変短縮ダイヤル)	14
● ワンタッチオートダイヤルでかける(ワンタッチオートダイヤル)	16
● 最後にかけた相手に再度かける(ラストナンバーリダイヤル)	16
● 電話を受ける(外線応答)	16
① 回線対応ごとのボタンで受ける(ストレートライン応答)	16
② 自テナントの着信を1つのボタンで集中して受ける(自テナントバーチャルライン応答)	16
③ 他テナントの着信をボタンで受ける(他テナントバーチャルライン応答)	16
● 通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする(一般保留)	17
● 通話中の相手を他の内線に転送する(転送)	17
① 近くの人に転送する(保留転送)	17
② 遠くの人に用件を伝えた後転送する(自動転送)	17

内線	
● 受話器を上げてかける(オフフックダイヤル)	18
● 受話器を置いたままかける(オンフックダイヤル)	18
● ワンタッチダイヤルでかける(ワンタッチダイヤル)	18
● 相手を音声で呼び出す(音声呼出し)	18
● 電話を受ける(内線応答)	19
● 通話中の相手を他の内線に転送する(転送)	19

第2章

便利な機能

外線	
● 外線発信した電話番号を一時記憶させる(セーブダイヤル)	22
● NCC(新電電各社)回線を利用してかける(LCR発信)	23
① LCR機能を利用する(国内LCR発信)	23
② 任意のLCR回線を選択する(NCC発信)	23
③ 国際LCR機能を利用する(国際LCR発信)	23
● 通話中にプッシュ(PB)信号を出す(PB信号送出)	23

内線	
● 相手が話中のため別の内線にかける(リセットコール)	24
● 相手が話中のためそのまま通話終了を持つ(オフフックキャンブオン)	24
● 相手が話し終わったら自動的に呼出す(オンフックキャンブオン)	24
● グループ内の電話着信を自席の電話で受ける(代理応答)	25
● 相手が席に戻ったら相手から電話をもらう(留守中着信表示)	25
● 連絡を待っている相手に簡単な操作でかける(留守中着信自動呼出し)	25
● 不在中にかけてきた内線にメッセージで知らせる(不在メッセージ)	26

外線・内線	
● 不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する(可変不在転送)	27
● 通話保留時その電話機からしか戻れないようにする(自己保留)	27
● 一時電話がかかってこないようにする(着信拒否)	28
● 通話を個別に保留する(共通保留)	28

第3章
付加機能

● 通話中に割込んできた電話に応答する(通話中着信表示)	30
● 三人で話す(三者通話)	30
① 外線1人と内線2人で通話する(1外線三者通話)	30
② 外線2人と内線1人で通話する(2外線三者通話)	30
③ 内線3人で通話する(内線三者通話)	31
● ヘッドセットで通話する(ヘッドセット通話)	32

第4章
画面操作からの機能設定

● 登録項目について	34
● 電話帳に登録する	35
● 電話帳を使って電話をかける	37
● 発信履歴から電話帳に登録する	38
● 短縮ダイヤルを電話帳に登録する	38
● グループ設定を変更する	39
● 発信履歴を使って電話をかける	39
● 着信履歴を使って電話をかける	40
● 履歴を保存する	40
● 着信音を設定する	41
● 着信音を鳴らさない	41
● ボタン操作音を出さない	41
● 着信音の鳴動条件を設定する	42
● 保留音を設定する	43
● ハンドセットの条件を変える	43
● 画面コントラストを調節する	43
● 省電力モードを使う	44
● ヘッドセットを使う	44
● 通話品質を表示させる	45
● ログを保存する	45
● 電話機の構成情報を確認する	45
● アラームを使う	46
● 電話機をロックする	46
● 電話機設定を保存する	47
● LANポートの状態を知る	48

第5章
登録操作

● 登録項目について	50
● 登録モードにする	50
● 個人短縮ダイヤルを登録する	51
● 個人短縮ダイヤルを編集する	52
● グループ短縮ダイヤルを登録する	53
● グループ短縮ダイヤルを編集する	54
● システム短縮ダイヤルを確認する	55
● 支店番号システム短縮ダイヤルを確認する	55
● 機能ボタンを登録する	56
● 内線名称を登録する	59

第6章

特定電話機

● 登録項目について	62
● 登録モードにする	62
● システム短縮ダイヤルを登録する	63
● システム短縮ダイヤルを編集する	64
● 支店番号システム短縮ダイヤルを登録する	65
● 支店番号システム短縮ダイヤルを編集する	65
● 日付を設定する	66
● 時刻を設定する	66
● 内線名称を登録する	67
● 席入替えを登録する	67
● 発信停止を登録する	68
● 発信停止を解除する	68
● 発信停止の登録内容を確認する	68

第7章

その他の電話機

ハンズフリー付電話機

● 外線にかける(外線発信)	70
● 外線からの電話を受ける(外線応答)	70
● 内線にかける(内線発信)	71
● 内線からの電話を受ける(内線応答)	71
● ヘッドセットで通話する(ヘッドセット通話)	72
● 通話を録音する(通話録音)	73

第8章

付録

● 文字入力	76
● 各ボタンの文字割り当て	77
● 十字ボタンの機能	78
● 機能メニューの表示	79
● 機能メニュー一覧	80
● こんなメッセージが出たら	86
● 故障かなと...思ったら	86
● 電話機角度/画面角度を変える	87
● 別売品	87
● 主な仕様	87

電話機の種類

交換機に接続してご利用いただける専用電話機です。

標準電話機(24ボタン)

〈IP-24D-TELSD〉

フリーファンクションボタンが24個の標準電話機です。



ハンズフリー付電話機(36ボタン)

〈IP-36D-TELHF〉

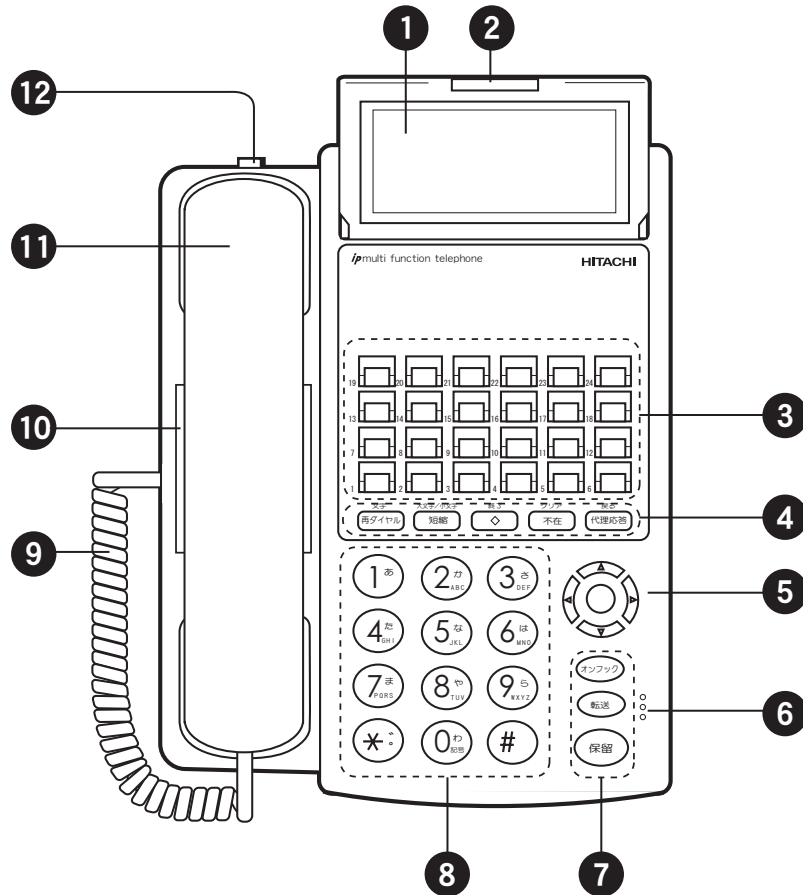
受話器を置いたまま通話できます。また、ヘッドセットや録音装置も接続できます。



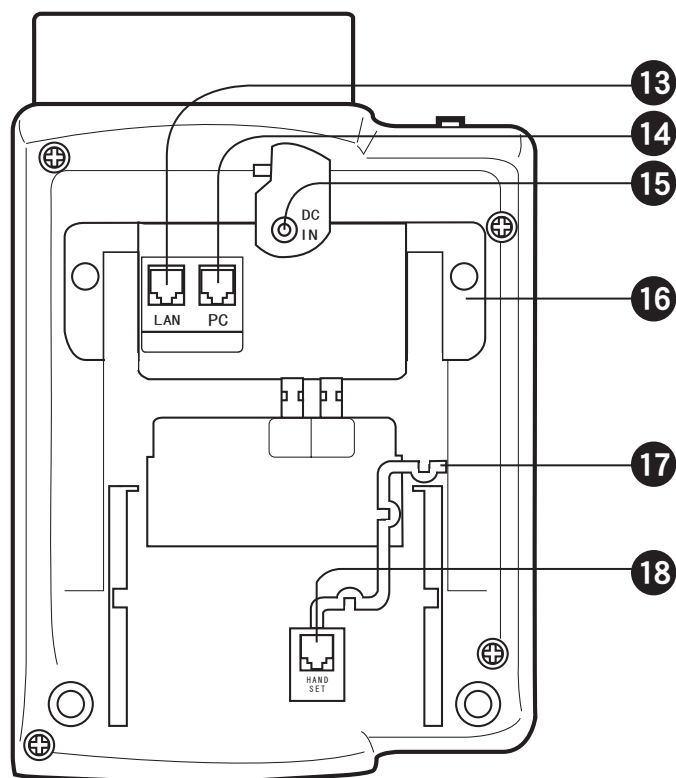
各部の名称と機能

☒はIP-24D-TELS D

■正面




■裏面



1 表示器
入力した電話番号や、かかってきた電話番号などを表示します。

2 着信ランプ
着信時に赤点滅します。

3  フリーファンクションボタン
外線を受容します。空きボタンは設定により特殊ボタンとして使用できます。

4 機能ボタン (5個)

文字
再ダイヤル **再ダイヤル/文字ボタン**

直前にかけた相手に再度かけるときや、文字入力時に文字種切替るときに使用します。

大文字/小文字
短縮 **短縮/大文字/小文字ボタン**

短縮ダイヤルで電話をかけるとき、文字入力時に大文字/小文字を切替るときに使用します。

終了
◇ **◇/終了ボタン**

ダイヤルを間違えた際に捕捉している回線を一旦切るとき（販売店の設定により別機能にもなります。）や、電話帳操作を終了するときを使用します。

クリア
不在 **不在/クリアボタン**

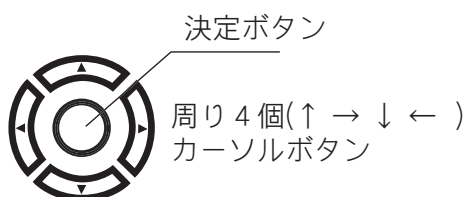
自席にかかってくる電話を行先の内線に転送するときや、電話帳操作時文字を消去するときを使用します。

戻る
代理応答 **代理応答/戻るボタン**

近くの電話機の着信に応答するときや、電話機能メニューの1つ上の階層に戻るときに使用します。

5  十字ボタン

電話帳登録時などのメニューを呼び出すときや各種音量調節するときを使用します。



詳細：十字ボタンの機能(P.78)

6 マイク
ハンズフリー通話を利用する場合のマイクです。

7 機能ボタン (3個)

オンフック **オンフックボタン**

受話器を置いたままダイヤルするときなどに使用します。

転送 **転送ボタン**

通話中の電話を他の内線にまわすときに使用します。

保留 **保留ボタン**

通話中の相手を一時待たせるときなどに使用します。

8  ~  *  ダイヤルボタン

電話番号や文字、記号を入力するときを使用します。

9 コールコード

10 スピーカ

オンフックダイヤルを利用時、相手を呼出す音などが聞こえます。

11 ハンドセット

相手と通話するときを使用します。

12 ハンドセットフック

電話機が壁掛式るとき、通話中の相手を一時待たせる際にハンドセットを掛けておく所です。

13 LAN

スイッチングHUBなどに接続します。

14 PC

パソコンなどに接続します。

15 DC IN

ACアダプタ(別売品)を接続します。

16 角度アダプタ

電話機の角度を変えるときに使用します。

17 ハンドセットコード固定溝

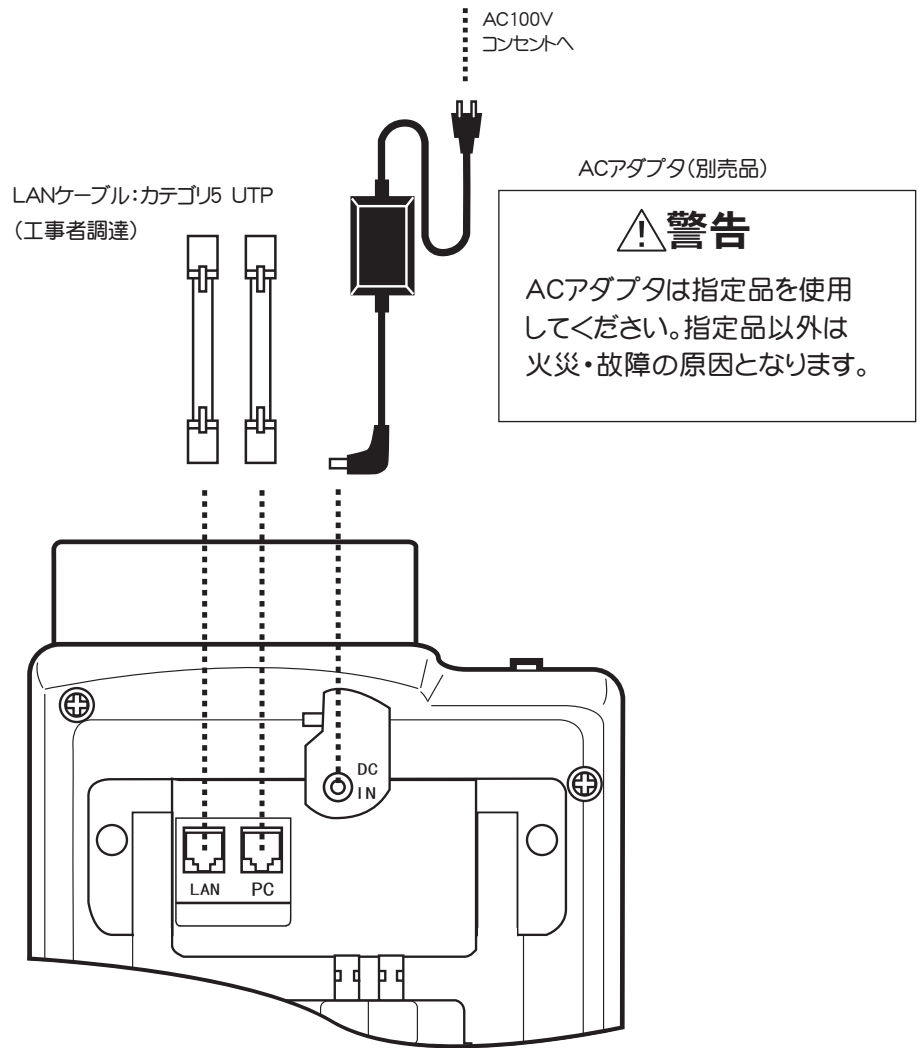
ハンドセットコードを埋め込む溝です。

18 HANDSET

ハンドセットコードを接続します。

電話機の接続について

この電話機のケーブル接続は次のとおりです。



ご注意

電源について

- 本IP電話機の電源は、給電HUBとACアダプタを共に接続できます。
- 2つの電源を接続した場合は、先に接続した方の電源から供給を受けます。
- 一旦電源を抜き差しする(停電/復旧含む)と、本IP電話機は再起動します。

対向装置と合わせる

- LANの設定とPCコネクタの接続は、対向装置と合わせた内容にしてください。
内容が異なると通信障害の原因となります。

ループは形成しない

- LANとPCコネクタを接続する前に、必ずネットワーク構成を確認して、ループを形成しない構成にしてください。ループを形成すると通信障害の原因となります。

給電機能付きHUBを使うとき

- ACアダプタは不要です。
- 給電HUBはLANポートに接続してください。
- 端末(PCなど)はPCポートに接続してください。
- 本IP多機能電話機の電カクラスは「クラス0」です。



第1章

基本操作

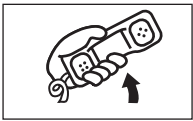


この章は、基本的な電話機の使い方についての説明です。

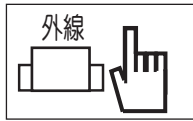
外線 基本操作

受話器を上げてかける

オフフックダイヤル

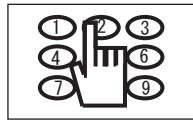


1. 受話器を上げる。



2. 空いている外線ボタンを押す。

・外線ランプが緑点灯になります。



3. 相手番号をダイヤルする。

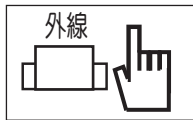
受話器を置いたままかける

オンフックダイヤル



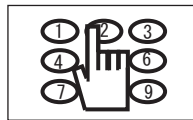
1. オンフックボタンを押す。

・オンフックランプが赤点灯します。

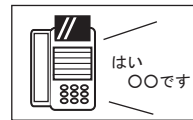


2. 空いている外線ボタンを押す。

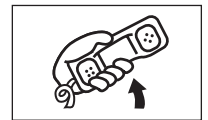
・外線ランプが緑点灯になります。



3. 相手番号をダイヤルする。



4. スピーカで相手の応答を確認する。

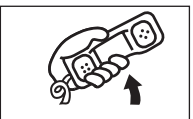


5. 受話器を上げる。

システム短縮ダイヤルでかける

システム短縮ダイヤル

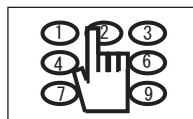
全内線が共通で使える短縮ダイヤルです。



1. 受話器を上げる。



2. 短縮ボタンを押す。



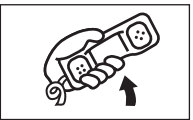
3. 短縮番号を押す。

- あらかじめシステム短縮ダイヤルに相手先を登録してください（登録P.63）。
- 操作3. の短縮番号は、取り付け時、販売店により設定されます（発信操作P.15）。

可変短縮ダイヤルでかける

可変短縮ダイヤル

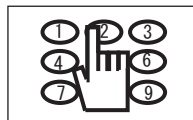
グループ用と個人用があります。システム短縮ダイヤルとは別枠で使用できます。



1. 受話器を上げる。



2. 短縮ボタンを押す。



3. 短縮番号を押す。

- あらかじめ可変短縮ダイヤルに相手先を登録してください（登録P.51、53）。
- 操作3. の短縮番号は、取り付け時、販売店により設定されます（発信操作P. 15）。

システム短縮／可変短縮ダイヤルの発信操作

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する「システム短縮ダイヤル」と、これとは別枠で使用できる「可変短縮ダイヤル」があります。可変短縮ダイヤルには、グループを組んだ中だけで使用する「グループ用」と、各内線が独自に使用する「個人用」があります。これらはどちらか選択になっています。

この内容を販売店に確認してください

システム短縮ダイヤルの場合

1. 発信操作方法は、①②③のどれになっているか。
設定によって複数利用することもできます。
2. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数(×××)が変わります。

可変短縮ダイヤルの場合

1. 利用できるのは、グループ用か個人用か。
どちらか選択になっています。
2. 発信操作方法は、①②③のどれになっているか。
3. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数(××)が変わります。

		短縮ダイヤル		
		システム短縮ダイヤル	可変短縮ダイヤル	
			グループ用	個人用
発信操作	① 短縮+ <u>×××</u> ② 短縮+ <u>※</u> +××× ③ 短縮+ # + <u>×××</u>		① 短縮+ <u>××</u> ② 短縮+ <u>※</u> +×× ③ 短縮+ # + <u>××</u>	
	下線の部分が短縮番号です。登録のとき、※、#も一緒に入力してください。			
短縮番号	●短縮番号の桁数は、最大相手先登録数によって変わります。 (例) ■10件のとき :0(1件目)～9(10件目) ■100件のとき :00(1件目)～99(100件目) ■1,000件のとき :000(1件目)～999(1,000件目) ■2,000件のとき :0000(1件目)～1999(2,000件目) ■10,000件のとき :0000(1件目)～9999(10,000件目) ※ システム短縮ダイヤルは、最大10,000件です。 (主装置がMX900IPの場合:最大2,000件) ※ 可変短縮ダイヤルは、最大100件です。			

ワンタッチオートダイヤルでかける

ワンタッチオートダイヤル



1. 受話器を上げる。
2. ワンタッチボタンを押す。

- 外線が収容されていない空きボタンをワンタッチオートダイヤルボタンとして使用します(登録P.56)。
- あらかじめワンタッチボタンに外線相手を登録してください(登録P.56)。

最後にかけた相手に再度かける

ラストナンバーリダイヤル



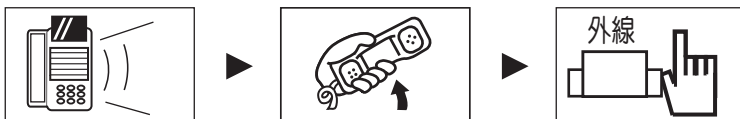
1. 受話器を上げる。
2. 再ダイヤルボタンを押す。

- 「セーブダイヤル(P. 22)」を有効にすると、本機能は使用できなくなります。
- 本機能でかけることができる相手先(①外線のみ ②外線・専用線 ③外線・専用線・内線)は取り付け時に設定されます。販売店に確認してください。

電話を受ける

外線応答

① 回線対応ごとのボタンで受ける(ストレートライン応答)



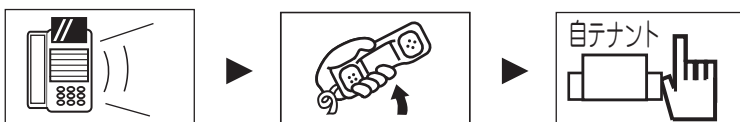
着信音が鳴り、外線ランプが赤の速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。
2. 赤の速い点滅をしている外線ボタンを押す。

・外線ランプが緑点灯になります。

- 着信時、外線ランプが緑の速い点滅のときは、受話器を上げると即応答になります。

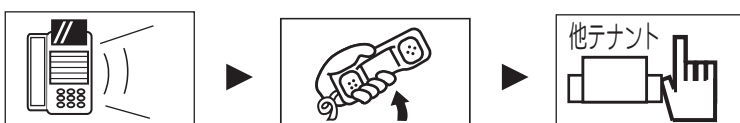
② 自テナントの着信を1つのボタンで集中して受ける(自テナントバーチャルライン応答)



着信音が鳴り、自テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。
2. 赤の速い点滅をしている自テナントの応答ボタンを押す。

③ 他テナントの着信をボタンで受ける(他テナントバーチャルライン応答)

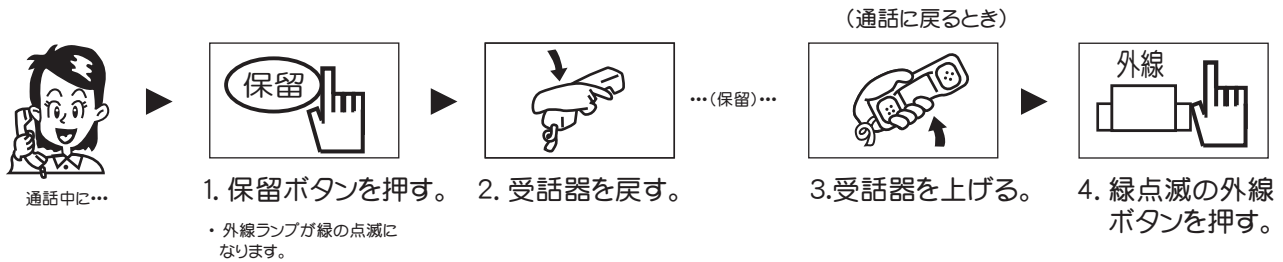


着信音が鳴り、他テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。
2. 赤の速い点滅をしている他テナントの応答ボタンを押す。

通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする

一般保留

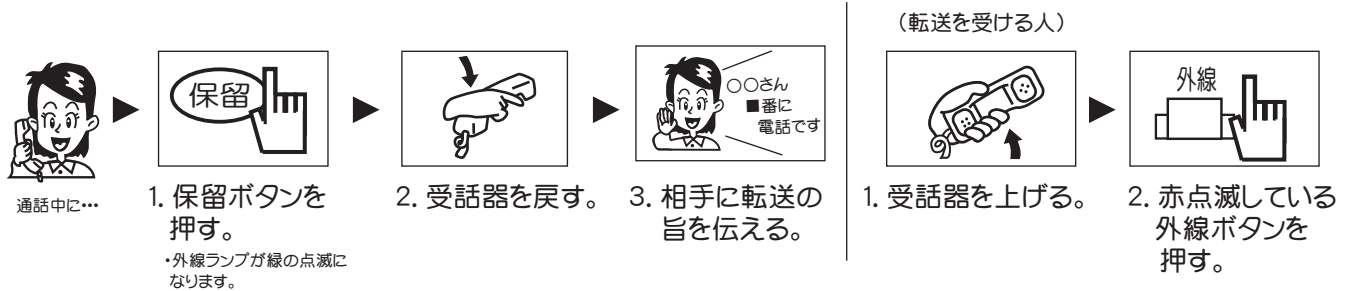


- この方法で保留すると、保留した電話機以外の電話機からでも保留を解除できます。
- 保留中は、相手にメロディが流れます。

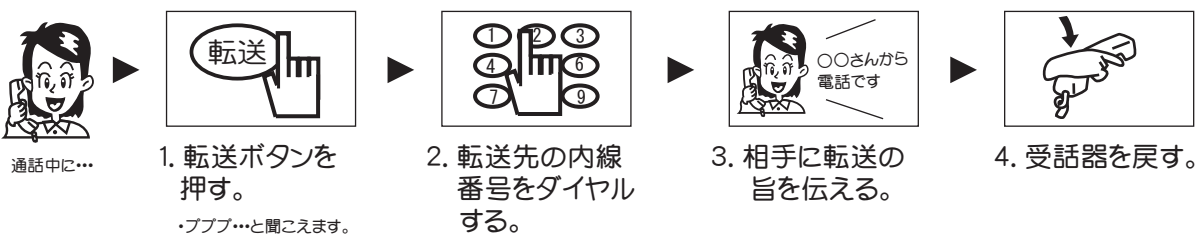
通話中の相手を他の内線に転送する

転送

① 近くの人に転送する（保留転送）



② 遠くの人に用件を伝えた後転送する（自動転送）



- 操作3. で、相手が話中、または応答がないときは、再度、転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

内線 基本操作

受話器を上げてかける

オンフックダイヤル



1. 受話器を上げる。
2. 相手番号をダイヤルする。

受話器を置いたままかける

オンフックダイヤル



1. オンフックボタンを押す。
2. 相手番号をダイヤルする。
3. スピーカで相手の応答を確認する。
4. 受話器を上げる。

・オンフックランプが赤点灯します。

ワンタッチダイヤルでかける

ワンタッチダイヤル



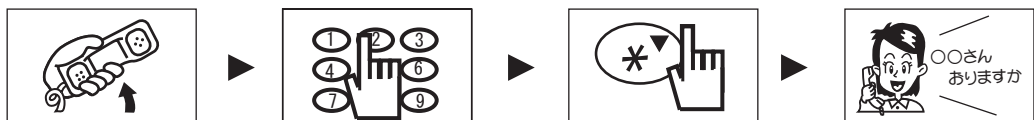
1. 受話器を上げる。
2. 内線ワンタッチボタンを押す。

- 空いている外線ボタンを内線ワンタッチダイヤルボタンとして使用します。
- あらかじめ内線相手先を登録してください（登録P.56）。

相手を音声で呼び出す

音声呼出し

相手電話機のスピーカから話しかけることができます。



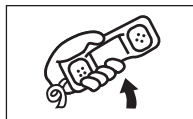
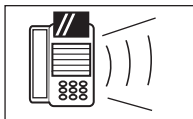
1. 受話器を上げる。
2. 相手番号をダイヤルする。
3. 呼出し音が聞こえているときに*を押す。
4. 相手呼び出す。

・冒頭音（ブーツ）が聞こえます。

- 操作3. で*を押す毎に、音声呼び出しと信号音呼び出しとが交互に替わります。
- 本機能を利用できるのは、相手の電話機が多機能電話機の場合だけです。

電話を受ける

内線応答



着信音が鳴る。

・オンフックランプが速い
点滅になります。

1. 受話器を上げる。

通話中の相手を他の内線に転送する

転送

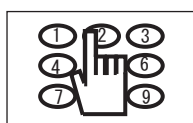


通話中に...



1. 転送ボタンを
押す。

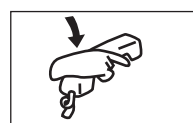
・ブブブ...と聞こえます。



2. 転送先の内線
番号をダイヤル
する。



3. 相手に転送の
旨を伝える。



4. 受話器を戻す。

- 操作3. で、相手が話中、または応答がないときは、再度、転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

MEMO



第 2 章

便利な機能



この章は、電話機をさらに使いこなすための便利な機能についての説明です。

外線 便利な機能

外線発信した電話番号を一時記憶させる

セーブダイヤル

外線にかけたとき、再度その相手にかける可能性がある場合には、次の操作をすると、ダイヤルした番号を一時記憶させておけます。何度でも発信できるため一時的なワンタッチボタンとして便利です。

登録

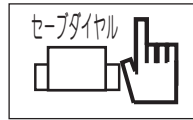


1. 受話器を置いたまま保留ボタンを押す。



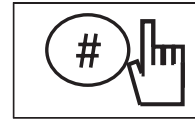
2. 再ダイヤルボタンを押す。

- ・再ダイヤルランプが赤点灯します。
- ・直前にかけた先の電話番号が表示されます。



3. セーブダイヤルボタンを押す。

- ・セーブダイヤルランプが赤点灯します。
- ・直前にかけた先の電話番号が登録されます。

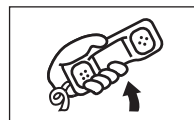


4. #ボタンを押す。

発信



1. 受話器を置いたまま再ダイヤルボタンを押す。



2. 受話器を上げる。

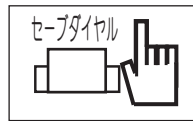
解除



1. 受話器を置いたまま保留ボタンを押す。

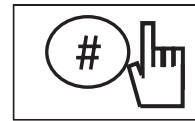


2. 再ダイヤルボタンを押す。



3. セーブダイヤルボタンを押す。

- ・セーブダイヤルランプが消えます。



4. #ボタンを押す。

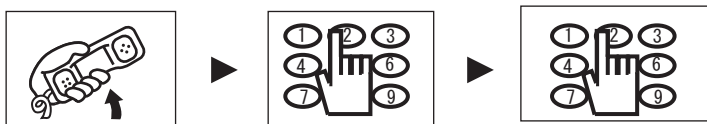
- セーブダイヤルボタンの登録は、取り付け時に販売店によって設定されるか、お客さまがご自身でも登録することができます。この場合は、第5章「各種登録」を参照してください。

NCC (新電電各社) 回線を利用してかける

LCR発信

① LCR機能を利用する (国内LCR発信)

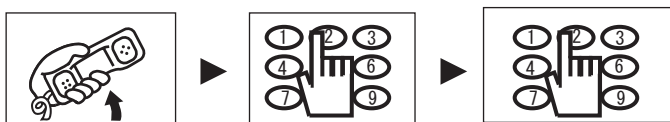
市外に電話をかけるとき、NTT、NCC各社の料金を比較し、最も安い回線を自動的に選択してダイヤルします。



1. 受話器を上げる。
2. 国内LCR発信特番をダイヤルする。
3. 相手番号をダイヤルする。

② 任意のLCR回線を選択する (NCC発信)

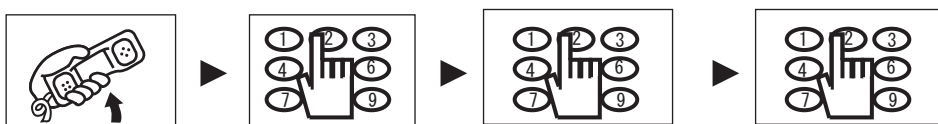
任意のNCC回線を選択するとき、NCCアクセスをダイヤルする代わりに、各社の発信特番をダイヤルするだけでNCCアクセス番号が送出されます。



1. 受話器を上げる。
2. NCC各社の発信特番をダイヤルする。
3. 相手番号をダイヤルする。

③ 国際LCR機能を利用する (国際LCR発信)

海外に電話をかけるとき、KDD、第2KDDの料金を比較し、安い方の回線を自動的に選択してダイヤルを送出します。



1. 受話器を上げる。
2. 国際LCR発信特番をダイヤルする。
3. 国番号をダイヤルする。
4. 相手番号をダイヤルする。

● 通話料金は第2KDD回線を選択しても、KDD回線を使ったものとして表示されます。

通話中にプッシュ(PB)信号を出す

PB信号送出

ダイヤル回線を利用している場合でも、銀行の残高照会など、プッシュ(PB)信号を必要とするサービスを利用できます。



内線 便利な機能

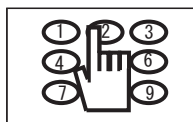
相手が話中のため別の内線にかける

リセットコール

かけた先の内線が話し中または応答がないとき、別の末尾番号1桁をダイヤルすると、末尾番号の違う内線を呼び出せます。一旦電話を切って再度かけ直す手間が省けます。



相手が話し中
または
応答がない...



1. 末尾1桁をダイヤルする。

〈例〉 内線310が話中 → 2をダイヤル → 内線312を呼び出します。

相手が話中のためそのまま通話終了を待つ

オフフックキャンブオン

かけた先の内線が話し中のとき、そのまま待っていると相手が受話器を戻した時点で自動的に呼び出しを開始します。



話中音が
聞こえている...



1. 待合せ登録音に変わる。



2. そのまま待つ。



3. 相手が受話器を戻すと呼び出し音に変わる。



4. 相手が応答したら通話する。

● 本機能と「オフフックキャンブオン」(下記)はどちらか選択です。(販売店設定)

相手が話し終わったら自動的に呼出す

オフフックキャンブオン

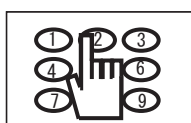
かけた先の内線が話し中のとき、この登録をしておくと相手が話し終り次第呼び出します。



話中音が
聞こえている...



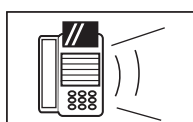
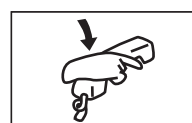
1. 転送ボタンを押す。



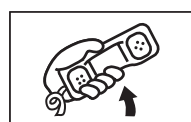
2. 待合せ特番を押す。



3. 登録音が聞こえる。 4. 受話器を戻す。



5. 相手が話し終わると呼返し音がします。



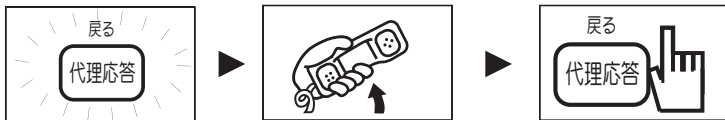
6. 受話器を上げる。
・呼び出し音が聞こえます。
相手の応答を待ってください。

● 本機能と「オフフックキャンブオン」(上記)はどちらか選択です。(販売店設定)

グループ内の電話着信を自席の電話で受ける

代理応答

代理応答グループ内にかかってきた電話は、自席の電話機で応答できます。



代理応答ランプが早い点滅になる。 1. 受話器を上げる。 2. 代理応答ボタンを押す。

● 代理応答グループは取付け時に設定されます(販売店設定)。

相手が席に戻ったら相手から電話をもらう

留守中着信表示

<該当:留守中着信表示サービスが有効に設定されている場合>

内線に電話をかけた際に応答がないとき、次の操作をしておくで相手の電話機にこちらの内線番号を表示させることができます。相手が席に戻ったら、相手から電話をかけてもらうことができます。

セット



呼び出し中に..



1. 転送ボタンを押す。



2. 登録音が聞こえる。



3. 受話器を戻す。

相手の電話機

着信あり	15 13:00
400	
15日(火)	15:00 450
着信音量	■■■■□□□

・転送ランプが遅い点滅になります。



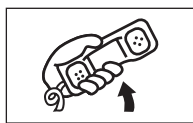
● 留守中着信表示サービスの有効・無効は、取り付け時に設定されます(販売店設定)。

連絡を待っている相手に簡単な操作でかける

留守中着信自動呼出し

「着信あり」と表示されている場合は、内線相手が電話を待っているときです。このとき簡単な操作でその相手に電話をかけることができます。

着信あり	15 13:00
400	
15日(火)	15:00 450
着信音量	■■■■□□□



1. 受話器を上げる。



2. 転送ボタンを押す。

・転送ランプが遅い点滅になり、相手の内線番号が表示されます。

- 留守中着信の受付は最大5件です。
- 2件以上受付しているとき、この操作でダイヤルされるのは、留守中着信表示の内線番号です。
- 2件以上受付しているとき、受話器を置いたまま転送ボタンを押すと、2件目の内線番号を表示します。
- 受付している内線番号表示を消すときは、受話器を置いたまま不在ボタンを押してください。

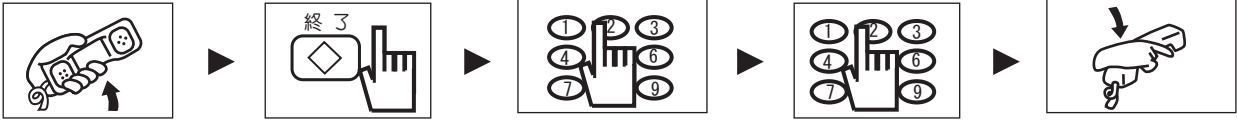
内線 便利な機能(つづき)

不在中にかけてきた内線にメッセージで知らせる

不在メッセージ

席を外すときや出張などの際に次の操作をしておくと、この間に電話をかけてきた相手電話機の表示器にメッセージで知らせることができます。

登録



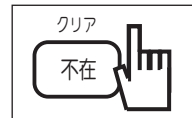
1. 受話器を上げる。
2. ◇ボタンを押す。
・◇ランプが赤点灯します。
3. 不在メッセージ番号(1~9, 0)を押す。
4. 表示にそって時・分・日付などを入力する。
5. 登録音が聞こえたら受話器を戻す。
・不在ランプは点灯したままです。

●操作3. の入力

●操作4. の入力

不在メッセージ番号	表示内容
1	「 <u>時</u> 」:「 <u>分</u> 」 まで 不在
2	「 <u>時</u> 」:「 <u>分</u> 」 に 戻ります
3	「 <u>日付</u> 」 日 まで 休み
4	「 <u>日付</u> 」 日 まで 出張
5	「 <u>日付</u> 」 日 に 出社
6	「 <u>内線番号</u> 」 で 会議中
7	「 <u>時</u> 」:「 <u>分</u> 」 まで 休憩中
8	「 <u>時</u> 」:「 <u>分</u> 」 まで 食事中
9	「 <u>時</u> 」:「 <u>分</u> 」 まで 外出中
0	帰宅しました

解除



1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。
・不在ランプが消えます。

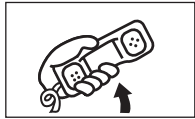
外線・内線 便利な機能

不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する

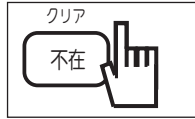
可変不在転送

他の場所で打合わせなどをするときに、本操作をしておくと、自席にかかってくる電話は自動的に登録先の内線に転送されます。

登録

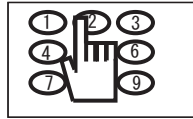


1. 受話器を上げる。



2. 不在ボタンを押す。

・不在ランプが点灯します。



3. 行先の内線番号をダイヤルする。



4. 登録音を確認する。

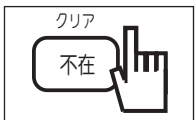


5. 受話器を戻す。

・不在ランプは赤点灯したままです。

● 操作4. の後、そのまま待っていると登録先の相手を呼び出します。

解除



1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが消えます。

通話保留時その電話機からしか戻れないようにする

自己保留

自分が保留した通話を、他の人が間違えて取らないようにしておくことができます。

登録

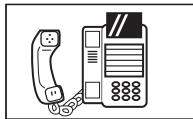


通話中に…



1. 自己保留ボタンを押す。

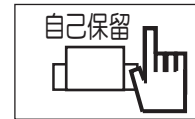
・自己保留ランプが緑点灯になります。



2. 受話器を外しておく。

… この間は保留中 …

解除



3. 自己保留ボタンを押す。

・自己保留ランプが消えます。

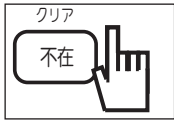
- 外線が収容されていない空きボタンを、自己保留ボタンとして使用します(登録P.56)。
- この方法で保留すると、保留した電話機からのみ保留を解除できます。
- 保留中は相手にメロディが流れます。
- 操作2. で受話器を戻してしまうと呼び返し音が鳴ります。このときは、受話器を上げて、再度保留操作をしてください。

一時電話がかかってこないようにする

着信拒否

電話を一時受けたくないとき、これを登録しておく、その間は着信を拒否できます。

登録



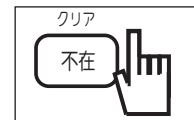
1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが点灯します。

- 着信拒否を登録中に、電話をかけてきた相手には下記の音が聞こえます。

着信の種類	相手が聞こえる音
内線着信	話中音またはリオーダ音
外線転送着信	
個別着信	呼び出し音
DI(ダイヤルイン)着信	呼び出し音または話中音
DIL(ダイレクトインライン)着信	呼び出し音
DID(ダイレクトインダイヤル)着信	呼び出し音または話中音

解除



1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。

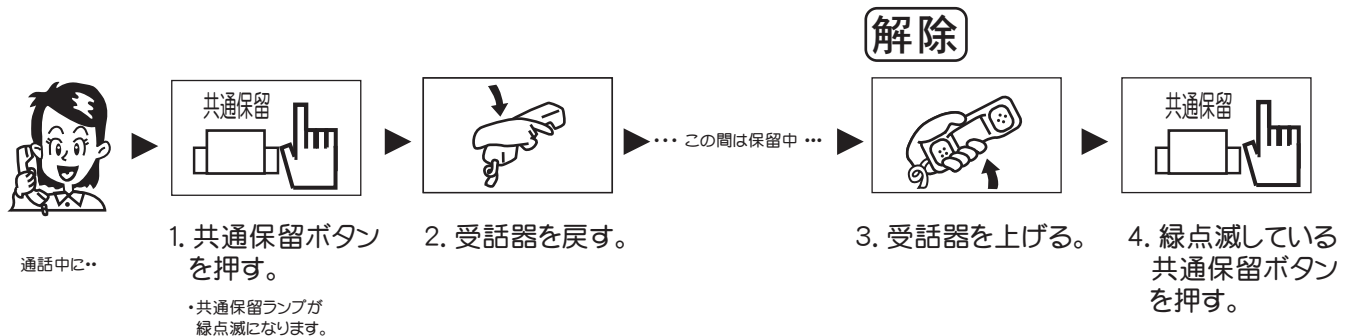
・不在ランプが消えます。

通話を個別に保留する

共通保留

<該当:グループ保留ボタンが設定されている場合>

通話を個別に保留できるため、複数の通話が保留されていても間違えずに目的の相手に戻れます。



- 外線が収容されていない空きボタンを、共通保留ボタンとして使用します(販売店設定)。



第3章

付加機能



この章は、電話機の付加機能についての説明です。

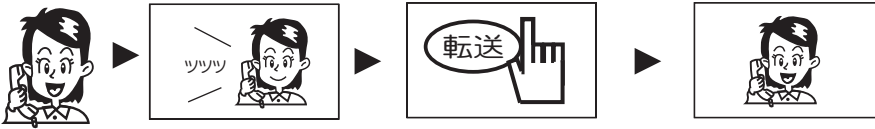
※主装置の構成によっては提供されない付加機能
があります。販売店にご確認ください。

付加機能

通話中に割込んできた電話に応答する

通話中着信表示

内線(A)と通話中に内線(B)から電話がかかってくると、特殊な着信音が聞こえます。通話中の相手に待ってもらい、かかってきた電話に応答できます。



内線(A)と通話中...

1. 内線(B)から着信が入る。

・転送ランプが速い点滅になります。

2. 転送ボタンを押す。

3. 内線(A)が保留され、内線(B)との通話になります。

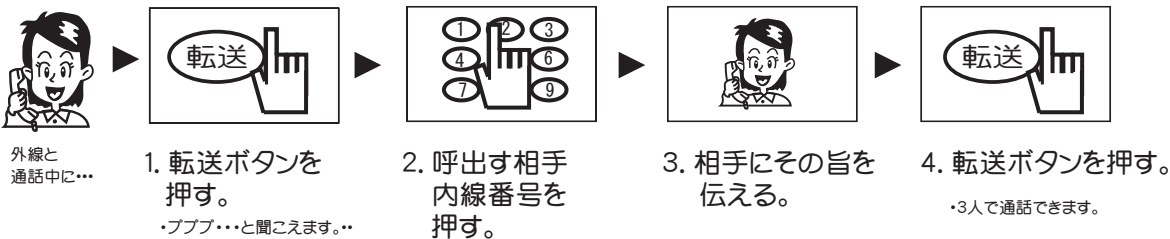
- 操作3. の後で、転送ボタンを押すと、内線(B)が保留されて内線(A)との通話になります。転送ボタンを押すごとに通話相手が変わります。

三人で話す

三者通話

① 外線1人と内線2人で通話する (1外線三者通話)

外線と通話中に、内線相手呼び出して3人で通話できます。



外線と通話中に...

1. 転送ボタンを押す。

・ブブブ...と聞こえます。..

2. 呼出す相手内線番号を押す。

3. 相手にその旨を伝える。

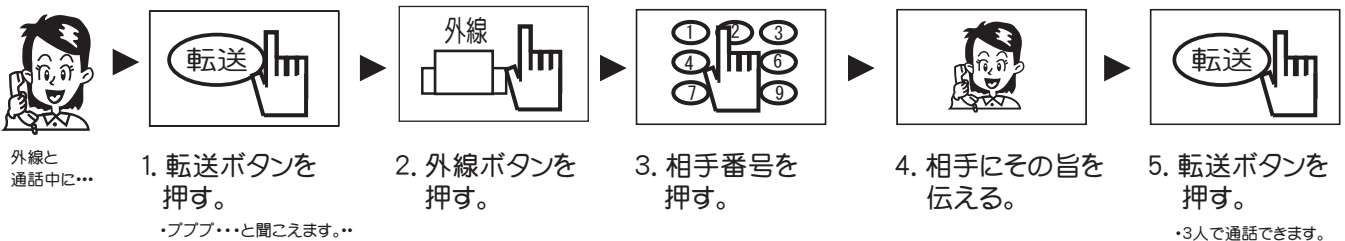
4. 転送ボタンを押す。

・3人で通話できます。

- 相手の応答がないときは転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
- 操作4. の後、転送ボタンを押すごとに [外線との二者]→[三者]→[内線との二者]→[三者]に変わります。
- 三者通話を始めた人が受話器を戻すと、あとの二人どうしの通話になります。

② 外線2人と内線1人で通話する (2外線三者通話)

外線(A)と通話中に、もう一人の外線(B)を呼び出して3人で通話できます。



外線と通話中に...

1. 転送ボタンを押す。

・ブブブ...と聞こえます。..

2. 外線ボタンを押す。

3. 相手番号を押す。

4. 相手にその旨を伝える。

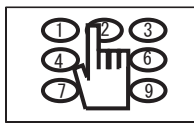
5. 転送ボタンを押す。

・3人で通話できます。

- 相手の応答がないときはキャンセルボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
- キャンセルボタンは、外線が収容されていない空きボタンに登録します(登録 P. 56)。
- 操作5. の後、転送ボタンを押すごとに [外線(A)との二者]→[三者]→[外線(B)との二者]→[三者]に変わります。

③ 内線3人で通話する（内線三者通話）

内線(A)と通話中に、もう一人の内線(B)を呼び出して3人で通話できます。



内線と通話中に…

1. 転送ボタンを押す。

・ブブブ…と聞こえます。…

2. 呼出す相手
内線番号を
押す。

3. 相手にその旨を
伝える。

4. 転送ボタンを押す。

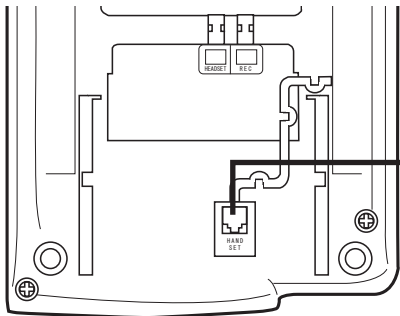
・3人で通話できます。

- 相手の応答がないときは転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
- 操作4. の後、転送ボタンを押すごとに [内線(A)との二者]→[三者]→[内線(B)との二者]→[三者]に変わります。
- 三者通話を始めた人が受話器を戻すと、あとの二人どうしの通話になります。

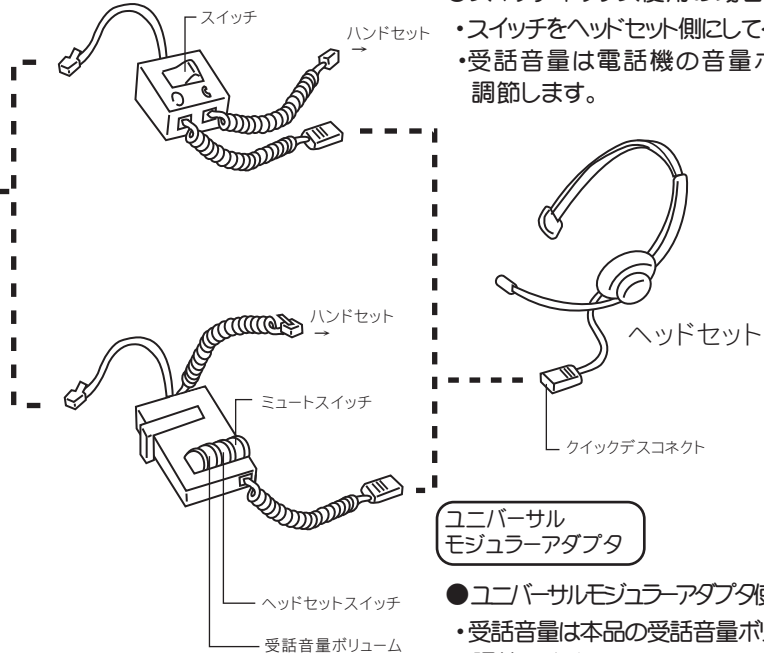
ヘッドセットで通話する

受話器の代わりにヘッドセットを使って通話できます。

ヘッドセットを接続するには電話機の改造が必要です。
販売店にご用命ください。



警告
スイッチボックスまたはユニバーサルモジュラーアダプタのコードを誤ってLANまたはPCに接続しないでください。回線電圧がコードにかかって火災・感電・故障の原因となります。



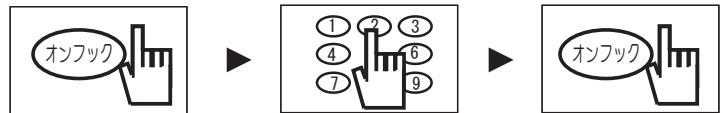
スイッチボックス

- スイッチボックス使用の場合
- ・スイッチをヘッドセット側にしてください。
- ・受話音量は電話機の音量ボタンで調節します。

ユニバーサルモジュラーアダプタ

- ユニバーサルモジュラーアダプタ使用の場合
- ・受話音量は本品の受話音量ボリュームで調節します。

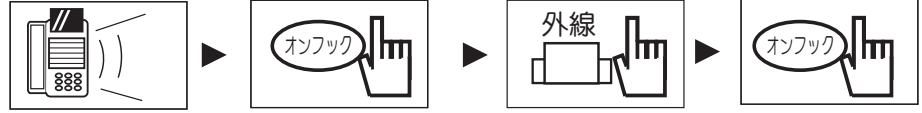
電話をかける



1. オンフックボタンを押す。
2. 相手番号を押す。
3. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

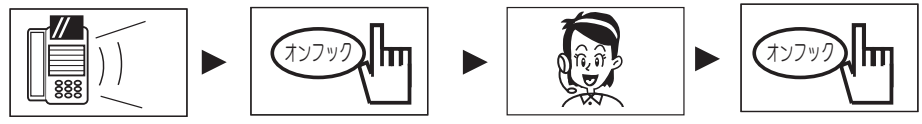
電話を受ける

■ 外線からの電話に应答する



- 着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 速い赤点滅の外線ボタンを押す。
3. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

■ 内線からの電話に应答する



- 着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 通話する。
3. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。



第 4 章

画面操作からの機能設定



この章は、各電話機から画面モードによる機能設定についての説明です。

- この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。

画面操作からの機能設定

登録項目について

各電話機から画面入力モードで下記の項目を操作できます。

■ システム関係

	項目	入力モード	内容
1	電話帳登録	画面入力	電話帳に相手番号を登録、変更、削除できます。
2	電話帳発信		電話帳に登録してある相手に発信する操作です。
3	発信履歴電話帳登録		発信、着信履歴に残っている相手先を電話帳に登録します。
4	短縮ダイヤル電話帳登録		システム短縮ダイヤルに登録してある相手を電話帳に登録できます。
5	グループ設定変更		グループ名称や着信音を設定できます。
6	発信履歴発信		発信履歴に残っている相手先にダイヤルできます。
7	着信履歴発信		着信履歴に残っている相手先にダイヤルできます。
8	履歴保存		発着信履歴として保存する条件を設定します。

■ その他

	項目	入力モード	内容
9	着信音設定	画面入力	電話がかかってきたときの音色(メロディ)を選択できます。
10	着信音の停止		電話がかかってきたときの音を停止できます。
11	ボタン操作音の停止		ボタンを操作したときの音を停止できます。
12	着信音鳴動条件設定		着信音の鳴動先(本体スピーカ/ハンドセット)を選択できます。
13	保留音設定		保留操作をしたときの音色(メロディ)を選択できます。
14	ハンドセット環境設定		受話器に関する内容を設定できます。
15	画面コントラスト調節		画面のコントラストを調節できます。
16	省電力設定		電話機の各種ボタンランプの節電ができます。
17	ヘッドセット接続設定		受話器の代わりにヘッドセットを使用するときに設定します。
18	通話品質表示設定		通話品質表示させて通話状況を知ることができます。
19	ログ保存		電話機のログを保存させることができます。
20	電話機構成情報参照		電話機に関する各種の情報を参照することができます。
21	アラーム設定		指定した時刻にアラーム音を鳴らせます。
22	電話機ロック		自分の電話機を他の人から操作できないようにロックできます。
23	電話機設定の保存		電話機設定を変更した場合に保存して再起動します。

電話帳に登録する

よくかける相手の名前、電話番号、着信音等を電話帳に登録できます。

機能メニューの表示(P.79)で「1電話帳」→「2登録」を表示させる。

! 必須項目(名前、電話番号1)は必ず入力してください。
入力がないと登録されません。

①

1	名前 (必須)
2	読み仮名 (必須)
3	電話番号
4	グループ
5	着信音
6	確認

「1名前」選択→
(決定) 押す。

② 名前？

田中 一郎

漢全

名前を入力→
(決定) 押す。

☞ 文字入力(P.76)

③ 読み仮名？

タナカイロウ

カナ半

読み仮名を入力→
(決定) 押す。

④ 電話番号1の特番？

0

電話番号の特番を入力→
(決定) 押す。

- ・電話番号1の特番を入力します。
- ・特番は外線等にかける際に電話番号の前に付ける番号です。電話番号とは分けて入力してください。最大5桁です。
- ・特番は管理者にお問い合わせください。

⑤ 電話番号1？

0249441554

電話番号を入力→ (決定) 押す。

- ・電話番号は最大32桁です。

⑥

1	グループ登録へ
2	電話番号2
3	電話番号3

電話番号1件だけの登録時は
「1グループ登録へ」を選択
→ (決定) 押す。

1つの電話帳に3件まで電話番号を登録できます。複数登録の場合は操作④⑤を繰り返してください。

⑦

1	グループ01
2	グループ02
3	グループ03
4	グループ04
5	グループ05
←	(1 / 4) →

保存先のグループを選択→
(決定) 押す。

- ・グループ数は20(01~20)です。
- ・グループ名称を登録してあるとその名称が表示されます。

⑧

1	なし
2	メロディ1
3	メロディ2
4	効果音1
5	効果音2
←	(1 / 3) →

着信音を選択→
(決定) 押す。

- ・電話帳に登録する外線番号については、個別に着信音を選択することができます。
- ・「1なし」にすると、着信音はグループ着信音設定や着信形態で鳴ります。

⑨

001
田中 一郎
タナカイロウ
1 00249441554
2
3

内容を確認→
(決定) 押す。

- ・ここで (決定) 押すと登録されます。

! (決定) を押さないで操作を終了すると入力した内容は登録されずに消去されます。

- 電話帳への登録は最大500件(メモリ番号:001~500)です。空いているメモリ番号へ自動的に登録されます。
- 1件の電話帳に電話番号を3件まで登録できます。なお、3件登録しても電話帳の件数は減りません。
- 電話帳をグループに分けて管理できます。グループには「会社」「部」などの名前をつけることができます。電話帳に登録する前にグループ名を登録しておくとう便利です。
- 名前と電話番号を入力するだけで登録できます。ただし、検索条件が減ることになります。

画面操作からの機能設定(つづき)

電話帳に登録した内容の変更・削除操作です。

機能メニューの表示(P.79)で「1電話帳」を表示させる。

変更

変更する詳細画面を表示する。☞電話帳検索(P.37)

- ①

001	田中 一郎
	タナカイチロウ
1	00249441554
2	00249441221
3	00364040514

 (決定) 押す。
- ②

1	発信番号選択
2	変更
3	削除
4	全削除
5	グループ削除

 「2変更」を選択→ (決定) 押す。
- ③

1	名前 (必須)
2	読み仮名 (必須)
3	電話番号
4	着信音
5	確認
6	

 電話帳の登録(P.35)と同様に内容変更→登録画面を表示→ (決定) 押す。

消去

消去する詳細画面を表示する。☞電話帳検索(P.37)

- ①

001	田中 一郎
	タナカイチロウ
1	00249441554
2	00249441221
3	00364040514

 (決定) 押す。
- ②

1	発信番号選択
2	変更
3	削除
4	全削除
5	グループ削除

 「3消去」を選択→ (決定) 押す。
 - ・「消去」…選択した電話帳1件を消去します。
 - ・「全消去」…すべての電話帳を消去します。
 - ・「グループ消去」…選択した電話帳が含まれるグループの全電話帳を消去します。
- ③

田中 一郎	
を消去しますか？	
1	いいえ
2	はい

 「2はい」を選択→ (決定) 押す。
 - ・消去に時間がかかる場合があります。

電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録されている相手先をいくつかの検索方法で呼び出して発信できます。

機能メニューの表示(P.79)で「1電話帳」→「1検索」を表示させる。

検索画面

①

1	名前検索	名前
2	メモリ番号検索	メモリ番号
3	グループ検索	グループ
4	電話番号検索	電話番号
5	読み仮名検索	読み仮名

いずれかを選択→
 押す。

●「1名前検索」を選択時

名前？

漢全

<検索キーワードを入力>

先頭数文字を入力する。
 ●ソート：シフトJISコード順

●「2メモリ番号検索」を選択時

メモリ番号？

メモリ番号を入力する。
 (入力した番号の電話帳を表示)

●「3グループ検索」を選択時

1	グループ	0	1
2	グループ	0	2
3	グループ	0	3
4	グループ	0	4
5	グループ	0	5

← (1 / 4) →

グループを選択する。
 ●ソート：メモリ番号順

●「4電話番号検索」を選択時

電話番号？

先頭数桁を入力する。
 ●ソート：電話番号順
 (特番は除く)

●「5読み仮名検索」を選択時

読み仮名？

カナ半

先頭数文字を入力する。
 ●ソート：五十音順

検索結果が無い場合と電話帳未登録の場合は、「データがありません」と表示されます。

<検索結果が表示されます>

②

1	田中一郎
2	田中工業所
3	田中商事所
4	田中事務所
5	田中運輸

← (1 / 2) →

選択→ 押す。

・この時点で発信する場合(電話番号1のみ)は、
 選択→受話器を上げるか、 押す。
 ・相手と通話中に転送する場合 押す。

<電話帳の詳細が表示されます>

③

001	田中一郎
	タナカイチロウ
1	00249441554
2	002494412212345678
3	00364040514

押す。

・ここでは電話番号(特番含む)の表示桁数は18桁までです。
 ・この時点で発信する(電話番号1のみ)場合は受話器を上げるか 押す。
 ・該当の電話番号を示す項番と同じダイヤルボタンを押すと、その番号で発信します。なお、通話中に操作した場合は、通話中ダイヤル送付となります。

で検索条件を満たした次候補と前候補を表示します。

で下記の画面を表示します。



001	田中一郎
	00249441554
	田中工業所
	メロディ1

④

1	発信番号選択
2	変更
3	消去
4	全消去
5	グループ消去

「1発信番号選択」を選択→ 押す。



<詳細な電話番号が表示されます>

1	00249441554
2	002494412212345678
	9012345
3	00364040514

発信先を選択→ 押す。
 ダイヤルされます。

・ここでは電話番号(特番含む)を最大の37桁まで表示します。
 ・ の代わりに受話器を上げるか、 押しても発信できます。
 ・相手と通話中に転送する場合 押す。

画面操作からの機能設定(つづき)

発着信履歴から電話帳に登録する

発着信履歴に保存されている相手先番号を電話帳に登録できます。

機能メニューの表示(P.79)で「2履歴」→「1発着履歴」または「2着信履歴」を表示させる。

<発着履歴画面>

①

発着履歴	NO.01	登録したい履歴を
04月28日(火)	15:44	表示させて→
00249441554		押す。

②

1 発着履歴登録	「2電話帳登録」選択→ 押す。
2 電話帳登録	
3 1件削除	
4 全削除	

③

1 名前(必須)	必須の名前を入力する。
2 読み仮名	
3 電話番号(必須)	
4 グループ	
5 着信音色	
6 確認/登録	

- 履歴に表示されている電話番号は自動的に「電話番号1」に登録されますので、ここでは最低でも必須の名前を入力してください(発着履歴画面で名称表示がある場合は、名前入力を省略できます。)
- 必要に応じて「電話帳登録」(P.35)と同様に入力してください。
- 名前入力だけで登録する場合は、名前を決定後、を押して上記画面に戻り、「6確認」を選択して 押す。

<確認画面>

④

010	登録して→
田中一郎	押す。
1 00249441554	
2	
3	

- この画面で 押すと登録されます。

短縮ダイヤルを電話帳に登録する

システム短縮ダイヤル(P.63)に登録されている相手先を電話帳に登録できます。

機能メニューの表示(P.79)で「1電話帳」→「4ダウンロード」→「1短縮ダイヤル」を表示させる。

①

1 グループ01	保存先のグループ を選択→ 押す。
2 グループ02	
3 グループ03	
4 グループ04	
5 グループ05	
← (1 / 4) →	

- グループ数は20(01~20)です。
- グループ名称を登録してあるとその名称が表示されます。

②

短縮番号?	短縮ダイヤルを入力→ 押す。
-------	-------------------

- 短縮番号は最大5桁です。
- 登録されている短縮番号は管理者に問い合わせてください。

<短縮ダイヤルの情報表示>

③

短縮番号:	50	確認して→ 押す。
グループ:	01	
発信特番:	0	
0249441554		
田中工業		
タナカウキョウ		

- 読み仮名や電話番号を追加するときは、「電話帳」から編集してください。
- 名称が登録されていない短縮ダイヤルはメモリ番号が名前に仮登録されます。

グループ設定を変更する

電話帳に登録してある、グループ名およびグループ毎の着信音色の変更ができます。

機能メニューの表示(P.79)で「1電話帳」→「3グループ」を表示させる。

名称

<グループ選択画面>

①

1	グ	ル	ー	プ	0	1
2	グ	ル	ー	プ	0	2
3	グ	ル	ー	プ	0	3
4	グ	ル	ー	プ	0	4
5	グ	ル	ー	プ	0	5

グループ選択→
 決定 押す。
 (例) 1グループ01
 ← (1 / 4) →

②

1	名	称	変	更
2	着	信	音	色

「1名称変更」選択→
 決定 押す。

③

名前？
漢全

名前を入力→
 決定 押す。
 文字入力(P.76)

・全角10文字、半角20文字まで入力できますが、グループ選択画面時に表示されないため全角9文字、半角18文字までの入力をおすすめします。

着信音

<グループ選択画面>

①

1	グ	ル	ー	プ	0	1
2	グ	ル	ー	プ	0	2
3	グ	ル	ー	プ	0	3
4	グ	ル	ー	プ	0	4
5	グ	ル	ー	プ	0	5

グループ選択→
 決定 押す。
 (例) 1グループ01
 ← (1 / 4) →

②

1	名	称	変	更
2	着	信	音	色

「2着信音色」選択→
 決定 押す。

③

1	なし				
2	メ	ロ	デ	イ	1
3	メ	ロ	デ	イ	2
4	効	果	音	1	
5	効	果	音	2	

着信音を選択→
 決定 押す。
 (例) 2メロディ1
 ← (1 / 3) →

・「1なし」に登録すると着信音は着信形態で鳴ります。

! ここで設定した着信音よりは、各電話帳に設定した方が優先されます。

発信履歴を使って電話をかける

一度かけた先の電話番号が、発信履歴として最新の分から最大30件まで記憶されています。これらを表示させて電話をかけることができます。

機能メニューの表示(P.79)で「2履歴」→「1発信履歴」を表示させる。

発信

<発信履歴画面>

①

1	発	信	履	歴
2	着	信	履	歴

「1発信履歴」選択→
 決定 押す。

・発信履歴が無い場合は「発信履歴未登録です」と表示されます。

②

1	発	信	履	歴	N0.01
2	04月	28日	(火)	15:44	
3	田	中	一	郎	
4	00249441554				

履歴が表示されます。
 / でかける先の電話番号を選択→
 決定 押す。

↓

1	発	信	登	録	
2	電	話	帳	登	録
3	1	件	消	去	
4	全	消	去		

「1発信」選択→
 決定 押す。

消去

発信操作②の画面を表示させ

①

1	発	信	履	歴	N0.01
2	04月	28日	(火)	15:44	
3	田	中	一	郎	
4	00249441554				

消去する履歴を選択→
 決定 押す。



1	発	信			
2	電	話	帳	登	録
3	1	件	消	去	
4	全	消	去		

「消去」を選択→
 決定 押す。
 (例) 3件消去

②

履歴を消去しますか？			
1	い	い	え
2	は	い	

「2はい」選択→
 決定 押す。

・「1件消去」…選択した履歴1件を消去します。
 ・「全消去」…すべての発信履歴を消去します。
 ・消去に時間がかかる場合があります。

画面操作からの機能設定(つづき)

着信履歴を使って電話をかける

かけてきた先の電話番号が、着信履歴として最新の分として最大30件まで記憶されています。これらを表示させて電話をかけることができます。

機能メニューの表示(P.79)で「2履歴」→「2着信履歴」を表示させる。

発信

<着信履歴画面>

- ①
- | |
|--------|
| 1 発信履歴 |
| 2 着信履歴 |
- 「2着信履歴」選択→
 押す。

・着信履歴が無い場合は「着信履歴未登録です」と表示されます。

- ②
- | | |
|-------------|-------|
| 着信履歴 | N0.01 |
| 04月28日(火) | 12:11 |
| 田中一郎 | |
| 00249441554 | |
| 不在着信 | |
- 履歴が表示されます。
 でかける先の電話番号を選択→
 押す。

・着信に回答しなかった場合は「不在着信」と表示されます。

! ボタン着信など、着信形態によっては着信履歴には残らない場合があります。

- ↓
- | |
|---------|
| 1 発信 |
| 2 電話帳登録 |
| 3 1件消去 |
| 4 全消去 |
- 「1発信」選択→
 押す。

消去

着信操作②の画面を表示させて

- ①
- | | |
|-------------|-------|
| 着信履歴 | N0.01 |
| 04月28日(火) | 15:44 |
| 田中一郎 | |
| 00249441554 | |
- 消去する履歴を選択→
 押す。



- | |
|---------|
| 1 発信 |
| 2 電話帳登録 |
| 3 1件消去 |
| 4 全消去 |
- 「消去」を選択→
 押す。
 (例) 2 1件消去

- ②
- | |
|------------|
| 履歴を消去しますか? |
| 1 いいえ |
| 2 はい |
- 「2はい」選択→
 押す。

・「1件消去」…選択した履歴1件を消去します。
 ・「全消去」…すべての着信履歴を消去します。
 ・消去に時間がかかる場合があります。

履歴を保存する

発信/着信履歴として保存する条件を設定できます。

機能メニューの表示(P.79)で「3電話機設定1」→「3履歴保存条件」を表示させる。

発信履歴

<発信履歴保存条件画面>

- ①
- | |
|-----------|
| 1 外線発信履歴 |
| 2 専用線発信履歴 |
| 3 内線発信履歴 |
- いずれか選択→
 押す。
 (例) 1外線発信履歴

・「外線発信履歴」…外線に発信したとき
 ・「専用線発信履歴」…専用線に発信したとき
 ・「内線発信履歴」…内線に発信したとき

- ②
- | |
|---------|
| 外線発信履歴 |
| 保存する |
| 1 保存する |
| 2 保存しない |
- いずれか選択→
 押す。
 (例) 1保存する

着信履歴

<着信履歴保存条件画面>

- ①
- | |
|----------|
| 1 着信通話履歴 |
| 2 不在着信履歴 |
- いずれか選択→
 押す。
 (例) 1着信通話履歴

・「着信通話履歴」…着信に回答して通話したとき
 ・「不在着信履歴」…着信に回答できなかったとき

- ②
- | |
|---------|
| 着信通話履歴 |
| 保存する |
| 1 保存する |
| 2 保存しない |
- いずれか選択→
 押す。
 (例) 1保存する

着信音を設定する

好みの着信音を選択できます。

各着信音の優先順位は下記のとおりです。

「電話帳着信音」>「グループ着信音」>「着信種別毎音色」

着信種別毎

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「1 サウンド設定」→「1 着信音設定」→「1 着信音色」を表示させる。

<着信種別選択画面>

①

1	内線着信音
2	外線着信音
3	専用線着信音
4	特殊着信音

いずれか選択→
(決定) 押す。
(例) 1内線着信音

← (1 / 2) →

- ・「内線着信音」…内線からの着信
- ・「外線着信音」…外線からの着信
- ・「専用線着信音」…専用線からの着信

※その他にもシステムで設定した着信種別毎に着信音を設定できます。詳細は管理者にお問い合わせください。

②

なし
1 なし
2 メロディ 1
3 メロディ 2

いずれか選択→
(決定) 押す。
(例) 2 メロディ 1

← (1 / 3) →

- ・ (決定) 押すと確認画面が出ますので、設定するときは (決定) 押しします。

着信音を鳴らさない

着信音が鳴らないように設定できます。

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「1サウンド設定」→「3 最小着信音」を表示させる。

<最小着信音画面>

最小着信音
1 最小
2 消音

「2 消音」選択→ (決定) 押す。

- ・「最小」…着信音量を最小にしたとき着信音が鳴る。
- ・「消音」…着信音量を最小にしたとき着信音が鳴らない。

ボタン操作音を出さない

ボタンを操作したときに鳴るボタンタッチ音を停止することができます。

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「1サウンド設定」→「4 ボタンタッチ音」を表示させる。

<ボタンタッチ音画面>

ボタンタッチ音
1 無し
2 有り

「1 無し」選択→ (決定) 押す。

- ・「有り」…音を鳴らす。
- ・「無し」…音を鳴らさない。

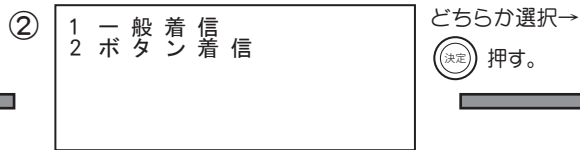
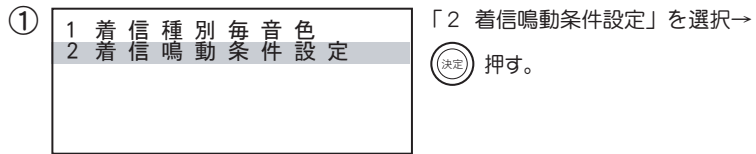
着信音の鳴動条件を設定する

着信鳴動条件設定

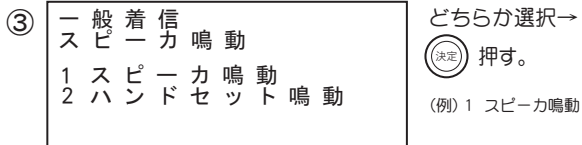
着信音の鳴動先を選択することができます。

! 本設定を変えるときは管理者等にご連絡ください。

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「1 サウンド設定」→「1 着信音設定」
→「2 着信鳴動条件設定」を表示させる。

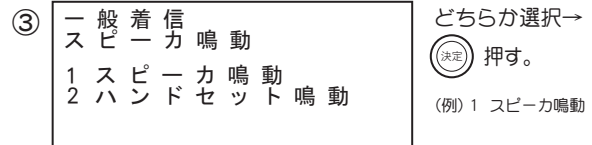


一般着信



- ・「1 スピーカ鳴動」…本体スピーカからの着信音鳴動
- ・「2 ハンドセット鳴動」…ハンドセットからの着信音鳴動

ボタン着信



- ・「1 スピーカ鳴動」…本体スピーカからの着信音鳴動
- ・「2 ハンドセット鳴動」…ハンドセットからの着信音鳴動

! ボタン着信が「2 ハンドセット鳴動」設定の場合、
通話中のボタン着信音は鳴動しません。


保留音を設定する

お好みの保留音を選択できます。

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「1 サウンド設定1」→「2 保留音設定」を表示させる。

<保留音設定画面>

保留音設定	1
1 保留音	1
2 保留音	2

いずれか選択→
 押す。

ハンドセットの条件を変える

受話器とスピーカの各種レベル設定ができます。


! 本設定を変えるときは管理者等にご連絡ください。

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「1 サウンド設定」→「5 レベル設定」を表示させる。

■ 受話器からの送話レベル変更するとき

<送話レベル設定画面>

送話レベル
現：×××
設：


レベルを入力→
 押す。

- ・入力範囲は、-12～12です。
- ・* でマイナスの入力ができます。

■ 受話器での受話基準レベルを変更するとき

<受話レベル設定画面>

受話レベル
現：×××
設：

レベルを入力→
 押す。

- ・入力範囲は、-12～12です。
- ・* でマイナスの入力ができます。

■ 受話器から聞こえる自身の声が気になるとき

<側音レベル設定画面>

側音レベル
現：×××××
設：

レベルを入力→
 押す。

- ・入力範囲は、0～32767です。

■ 受話器の受話音量を変更するとき

<通話音量(ハンドセット)設定画面>

通話音量(ハンドセット)
1 小さく
2 大きく
■ ■ ■ □ □ □

レベルを入力→
 押す。

- ・▲/▼で調節します。6段階です。

■ スピーカの受話音量を変更するとき

<通話音量(スピーカ)設定画面>

通話音量(スピーカ)
1 小さく
2 大きく
■ ■ ■ □ □ □

- ・▲/▼で調節します。6段階です。

■ スピーカの着信音量を変更するとき

<着信音量(スピーカ)設定画面>

着信音量(スピーカ)
1 小さく
2 大きく
■ ■ ■ □ □ □

- ・▲/▼で調節します。6段階です。

画面コントラストを調節する

画面のコントラストを調節することができます。

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「2 LCD設定」→「1 コントラスト」を表示させる。

<コントラスト画面>

コントラスト
1 淡く
2 濃く
3 初期値
■■■■■■■■■■□□□□□□□□□□

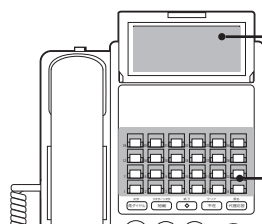
画面を見ながら▲/▼ 押す。

- ・コントラストは20段階です。
- ▲ …濃くなる。
- ▼ …淡くなる。

画面操作からの機能設定(つづき)

省電力モードを使う

待機状態のとき、画面のバックライトを消したり、フリーファンクションボタンランプの点灯を止めるなどができます。



- バックライト系：● 電話機を使用しているときの明るさを2段階に設定できます。
● 一定時間経過するとバックランプが消えるように設定できます。さらに、バックライトの再点灯条件を制限できます。
- ボタンランプ系：● 一定時間経過するとフリーファンクションボタンのランプを消すことができます。

バックライト系

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「2 LCD設定」を表示させる。

■明るさ調節

<バックライト明度画面>

バックライト 明度
標準
1 標準
2 省電力

「3バックライト明度」を選択で左記画面を表示させ
「2省電力」選択→
(決定) 押す。

■着信時のバックライト点灯条件

<バックライト点灯時間画面>

バックライト 点灯時間
1 分
1 1分
2 3分
3 10分
4 消灯なし

「4バックライト点灯時間」を選択で左記画面を表示させ
いずれか選択→
(決定) 押す。

・消灯までの時間の選択です。
「消灯なし」で点灯したままです。

■一定時間経過後にバックライト消灯

<着信時バックライト有無画面>

バックライト 着信時有無
点灯
1 点灯
2 消灯

「5バックライト着信時有無」を選択で左記画面を表示させ
「2消灯」選択→
(決定) 押す。

■電話機操作時のランプ点灯条件

<操作時バックライト有無画面>

バックライト 操作時有無
点灯
1 点灯
2 消灯

「6バックライト操作時有無」を選択で左記画面を表示させ
「2消灯」選択→
(決定) 押す。

省電力系

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「4 拡張機能」を表示させる。

■省電力モード

<省電力モード設定画面>

省電力モード設定
無効
1 無効
2 有効

「2省電力モード設定」を選択で左記画面を表示させ
「2有効」選択→
(決定) 押す。

■省電力モードへの時間

<省電力モード移行時間画面>

省電力移行時間
1 分
1 1分
2 3分
3 10分
4 30分

「3省電力移行時間」を選択で左記画面を表示させ
「4 30分」選択→
(決定) 押す。

- 省電力モードが起動すると、LCDのバックライトとフリーファンクションボタンのランプが消灯します。
- 「省電力移行時間」<「バックライト点灯時間」のときは、「省電力移行時間」でバックライトが消灯します。
- 省電力モード中に、着信音の鳴動、電話機のハンドセット操作やボタン操作をするとLCDのバックライトとフリーファンクションボタンのランプが点灯状態に戻ります。
- 省電力モード中の外線応答や代理応答グループ着信では、フリーファンクションボタンは点灯しません。始めにハンドセットを上げてから操作してください。

ヘッドセットを使う

ハンドセットの代わりにヘッドセットを使って通話できます。

■ 本設定を変えるときは管理者等にご連絡ください。

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「4 拡張機能」→「1 ヘッドセット付加」を表示させる。

<ヘッドセット付加画面>

ヘッドセット付加
無し
1 無し
2 有り

「2有り」選択→
(決定) 押す。

通話品質を表示させる

LANポートの通信状況を表示できます。

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「5 保守」→「4 通話品質表示」→「1 通話品質表示選択」を表示させる。

<通話品質表示選択画面>

- ① 通話品質表示選択
通話品質
1 音量表示
2 通話品質表示
- 「2 通話品質表示」選択→
 決定 押す。



内線番号 100
04月27日(水) 15:30

通話品質 ■■■■

・「着信音量」が「通話品質」に変わります。

! 転送などで通話相手が変わったり、また、電話操作などによって通話品質表示が変化することがあります。

ログを保存する

LANポートのログを保存できます。

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「5 保守」→「5 ログ」→「1 セーブ」を表示させる。

<ログセーブ画面>

- ログセーブ
1 はい
2 いいえ
- 「1 はい」選択→
 決定 押す。

電話機の構成情報を確認する

電話機に設定されている構成情報を確認できます。

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定 1」→「5 保守」を表示させる。

■ MACアドレスを参照するとき

<MACアドレス参照画面>

MACアドレス参照
現 : xx : xx : xx : xx : xx : xx

■ 自局IPアドレスを参照するとき

<自局IPアドレス参照画面>

自局IPアドレス参照
現 : xxx . xxx . xxx . xxx
DHCP : 未使用
VLAN : 未使用

■ ソフトウェアのバージョン情報を参照するとき

<ソフトウェアのバージョン情報参照画面>

ソフトウェアバージョン情報
1 面 F W : xxxxxxxx
2 面 F W : xxxxxxxx

画面操作からの機能設定(つづき)

アラームを使う

指定した時刻にアラーム音でお知らせすることができます。
機能メニューの表示(P.79)で「6 アラーム」を表示させる。

設定

<アラーム設定画面>

- ①

現在	時分
設定	15:30
	00:00
1	設定時間の変更
2	アラームの設定
3	アラームの解除

 「1設定時間の変更」選択→
(決定) 押す。
- ②

時分
0000
2000

 時刻を入力→
(決定) 押す。
- ③

現在	時分
設定	15:30
	20:00
1	設定時間の変更
2	アラームの設定
3	アラームの解除

 「2アラームの設定」選択→
(決定) 押す。
- ④

内線番号	100
04月27日(水)	15*30
着信音量	■■■■□□□

・設定すると時分間の「:」が「*」に変わります。
設定した時刻になるとアラームが約30秒間鳴ります。
途中で止めるときは * ボタンを押してください。

解除

<アラーム設定画面>

- ①

現在	時分
設定	15*00
	00*00
1	設定時間の変更
2	アラームの設定
3	アラームの解除

 「3アラームの解除」選択→
(決定) 押す。
- ②

内線番号	100
04月27日(水)	15:00
着信音量	■■■■□□□

・解除すると時分間の「*」が「:」に戻ります。

ご注意

アラームが設定されているとき、電話機が再起動となる操作をした場合(電話機ロック/解除(下記)など)も、アラーム設定は解除されます。

電話機をロックする

電話機の設定内容を他の人が操作できないようロックできます。

暗証番号

機能メニューの表示(P.79)で「3 電話機設定1」→
「4 拡張機能」→「4 パスワード登録」を表示させる。

<パスワード登録画面>

- ①

パスワード?

 現在のパスワードを入力→
(決定) 押す。
- ②

新パスワード入力?

 新しいパスワードを入力→
(決定) 押す。
- ③

新パスワード再入力?

 確認のため再度
新しいパスワードを入力→
(決定) 押す。

・初期値は「0000」に設定されています。
ロックする場合、このパスワードは必ず変更してください。
パスワードの桁数は4~8桁です。
・パスワードは忘れないよう記録しておいてください。
万一忘れた場合には管理者にお問い合わせください。

ロック

機能メニューの表示(P.79)で「5 ロック」を表示させる。

<パスワードロック画面>

- ①

ロック解除中です
1 解除する
2 ロックする

 「2ロックする」選択→
(決定) 押す。

・ロックすると、待機画面から「電話機メニュー」、「電話帳検索」、「発信履歴」の画面を呼出す際にパスワード入力が必要です。

解除

機能メニューの表示(P.79)で「5 ロック」を表示させ、
「1 解除する」を選択する。


電話機設定を保存する

各項目について操作した内容は、一旦予約状態になっているだけです。
この操作をすることで予約が確定します。

「電話帳の登録・変更・削除」、そして「履歴の削除」に関しては、
本操作をしなくても、その操作の段階で登録されます。

再起動が必要な項目の場合

① 保存して終了しますか
1 いいえ
2 はい(再起動)

「2 はい(再起動)」選択→
 押す。

・「1 いいえ」を選択すると、保存されずに
待機画面に戻ります。

↓

登録中

↓

NowLoading...

・下記の表示になるまで暫く時間がかかる
場合があります。この表示のままお待ち
ください。

↓

オフラインモード


↓

<待機画面>

内線番号	100
04月27日(水)	15:30
着信音量	■■■■□□□

再起動が不要な項目の場合

① 一般着信
スピーカ鳴動
1 スピーカ鳴動
2 ハンドセット鳴動

各設定画面で「決定」後→
 押す。

↓

登録中

↓

<待機画面>

内線番号	100
04月27日(水)	15:30
着信音量	■■■■□□□

ご注意

「登録中」や「NowLoading...」が表示されているときは、AC電源ケーブルや
LANケーブルを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。

画面操作からの機能設定(つづき)

LANポートの状態を知る

LANポートの状態を下記の表示から知ることができます。

<DoS攻撃検出>

内線番号 100
04月27日(水) 15:30

着信音量 ■■■□□□ D

「D」または「発信規制中」表示の場合

- 通話が途切れたりする場合があります。また、電話操作をすると、それまでよりも遅くなるなどの現象になります。

(例：ボタンを押して内容が表示されるまでの時間など)

<発信規制中>

内線番号 100
04月27日(水) 15:30

発信規制中

<DHCPリース切れ>

内線番号 100
04月27日(水) 15:30

着信音量 ■■■□□□ L

「L」表示の場合

- 発着信操作は通常にできます。この表示を消したいときは、電話機の電源を一旦切ってください。そして再起動させてIPアドレスを取得してください。

<TELNETログイン発生>

内線番号 100
04月27日(水) 15:30

着信音量 ■■■□□□ T

「T」表示の場合

- 発着信操作は通常にできます。なお、電話機メニューには入れません。電話機メニューを利用するときは、表示が消えるのを待ってください。

<トラヒック異常上昇発生>

オフラインモード

「オフラインモード」表示の場合

- 電話が使用できなくなります。トラヒック量が規定値まで下がると待機表示になり、電話が使用できるようになります。それまで待ってください。



第 5 章

登録操作



この章は、各電話機からの登録操作についての説明です。

- この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。
- この章の内容を操作している場合に、説明と違う表示になったときは、第8章「こんなメッセージが出たら」(P. 86)をご覧ください。

各電話機からの登録操作



各電話機から下記の項目について登録や確認ができます。

登録項目について

項目	内容
1 個人可変短縮ダイヤルの登録/編集 ※	各内線が使用できる個人可変短縮ダイヤルの登録です。
2 グループ可変短縮ダイヤルの登録/編集 ※	グループ内の内線が使用できるグループ可変短縮ダイヤルの登録です。
3 システム短縮ダイヤルの確認	全内線が使用できるシステム短縮ダイヤルの内容確認です。
4 支店番号システム短縮ダイヤルの(店番短縮ダイヤル)確認	短縮番号の代わりに、支店番号でシステム短縮ダイヤルの発信をする機能を設定している場合の内容確認です。
5 オートダイヤルボタンの登録 ※	外線や内線の相手番号をワンタッチで発信できるボタンの登録です。
6 外線ワンタッチボタンの登録 ※	短縮番号の内容をワンタッチで発信できるボタンの登録です。
7 内線ワンタッチボタンの登録 ※	内線への発信や着信の代理応答をワンタッチで行えるボタンの登録です。
8 自己保留ボタンの登録 ※	通話保留時にその電話機からしか戻れないようにするボタンの登録です。
9 転送完了ボタンの登録 ※	通話中の相手を他の内線に転送する際に受話器を戻す代わりに使用できるボタンの登録です。
10 DISC(disconnect)ボタンの登録 ※	ダイヤルをも違った時や通話を止めてダイヤルし直す時に使用できるボタンの登録です。
11 キャンセルボタンの登録 ※	通話中の相手を他の内線に転送する際に転送をやめて待たせている相手に戻るときに使用できるボタンの登録です。
12 セーブダイヤルボタンの登録 ※	最後に発信した番号を記憶し再び発信できるボタンの登録です。
13 メッセージウェイトボタンの登録 ※	相手が席に戻ったら相手から電話をもらう(留守中着信表示)ときのセットに使用できるボタンの登録です。
14 他グループピックアップボタンの登録 ※	他のグループへの着信を代理応答できるボタンの登録です。
15 登録ボタン内容の確認 ※	登録してあるボタン内容の確認です。
16 内線名称の登録 ※	各内線の内線名称の登録です。

※登録したデータは、定時タンブによって交換機に記憶されます。

登録モードにする

上記項目を操作するために、次のモードにしてください。

待機画面

①

内線番号	3000
05月16日(月)	15:00
着信音量	■■■■□□□

待機画面で (決定) 押す。

③

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

「4 電話機設定2」を選択→ (決定) 押す。

トップメニュー

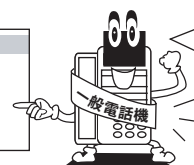
②

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

登録モード

④

1	短縮ダイヤル
2	ボタンの名称
3	内線名称



P.51~59の内容は、この画面にしてからの操作になります。

個人短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する"システム短縮ダイヤル"と各内線が独自に使用できる"個人可変短縮ダイヤル"と、グループ内の内線で共通に仕様できる"グループ可変短縮ダイヤル"があります。

短縮番号について

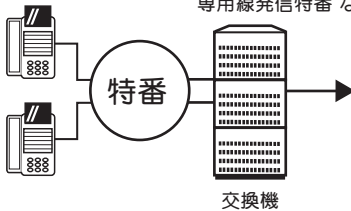
「システム短縮／可変短縮ダイヤル」(P.15)を参照して、短縮番号がどう設定されているかを販売店に確認してください。

発信種別を確認してください

システムが下記のどの発信種別になっているかを販売店に確認してください。

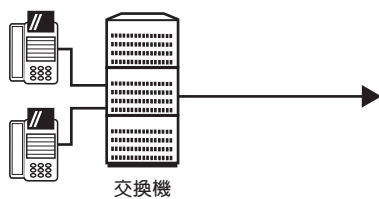
かけるときに特番が必要

- 特番発信 (例) 外線発信特番
LCR発信特番
専用線発信特番 など



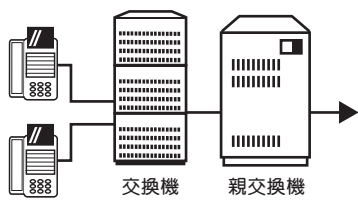
外線に直接かけられる

- 外線発信



親交換機を介してかける

- 親PBX発信



- 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称

登録モードから

「1短縮ダイヤル」を選択→

押す。

- 1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「1短縮ボタン発信」を選択→

押す。

- 短縮番号?
80■

短縮番号を入力→

押す。

- 個人可変短縮
未登録番号 : 80

押す。

- 1 登録
2 編集
3 消去

「1登録」選択→

押す。

- 発信種別?
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出

いずれか選択→

押す。

(例) 「1特番発信」選択

- 相手番号?
00249441221■

相手番号を入力→

押す。

(例) 発信特番 0

相手番号 0249441221

・ポーズを入力する場合は を押してください。
表示は「P」になります。

- 個人可変短縮
特番発信
00249441221

内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ 押す。

→ 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで
登録終了なら→ 押す。

→ 操作②に戻るので 押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら→ 押す。

→ 押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

個人短縮ダイヤルを編集する

①

1	短縮ダイヤル
2	ボタン
3	内線名称

登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→
決定 押す。

②

1	短縮ボタン発信
2	特番発信

「1短縮ボタン発信」を選択→
決定 押す。

③

短縮番号?
80■

短縮番号を入力→
決定 押す。

④

個人可変短縮
短縮番号:80
特番発信
00249441221

決定 押す。

⑤

1	登録
2	編集
3	消去

「2編集」選択→
決定 押す。

⑥

個人可変短縮
短縮番号:80
1 特番発信
2 00249441221

「1 特番発信」選択→
決定 押す。

・相手番号を編集するときは電話番号を選択し、
決定 押して操作⑥に進む。

⑦

発信種別?
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出用

目的の種別を選択→
決定 押す。
(例) 「2 外線発信」

⑧

個人可変短縮
短縮番号:80
1 特番発信
2 00249441221

「2 00249441221」選択→
決定 押す。

⑨

相手番号?
00249441221
00249441359■

相手番号を修正して→
決定 押す。
(例) 0249441359

・ポーズを入力する場合は [] を押してください。
表示は「P」になります。

! 「外線発信」を選択の場合、「相手番号」には
発信特番を指定しないでください。

⑩

個人可変短縮
短縮番号:80
外線発信
0249441359

内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで
登録終了なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので→ 終了 押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら→ 戻る 代理応答 押す。 → 戻る 代理応答 押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

グループ短縮ダイヤルを登録する

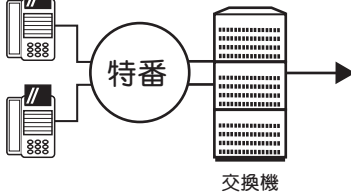
短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する"システム短縮ダイヤル"と各内線が独自に使用できる"個人可変短縮ダイヤル"と、グループ内の内線で共通に仕様できる"グループ可変短縮ダイヤル"があります。

発信種別を確認してください

システムが下記のどの発信種別になっているかを販売店に確認してください。

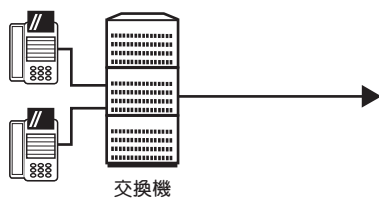
かけるときに特番が必要

- 特番発信 (例) 外線発信特番
LCR発信特番
専用線発信特番 など



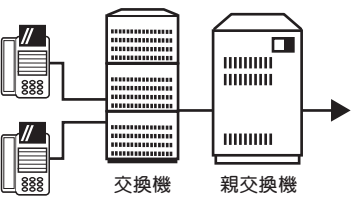
外線に直接かけられる

- 外線発信



親交換機を介してかける

- 親PBX発信



- 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称

登録モードから

「1短縮ダイヤル」を選択→
(決定) 押す。

- 1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「1短縮ボタン発信」を選択→
(決定) 押す。

操作する電話機について

電話機によってグループ短縮ダイヤルの登録・編集ができるものと、できないものがあります。販売店に確認してください。

短縮番号について

「システム短縮／可変短縮ダイヤル」(P.15)を参照して、短縮番号がどう設定されているかを販売店に確認してください。

- 短縮番号?
00■
(決定) 押す。
短縮番号を入力→
- グループ可変短縮
短縮番号 : 00
未登録
(決定) 押す。
- 1 登録
2 編集
3 消去
(決定) 押す。
「1登録」選択→
- 発信種別?
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出
(決定) 押す。
いずれか選択→
(例) 「1特番発信」選択
- 相手番号?
00249441221■
(決定) 押す。
相手番号を入力→
(例) 発信特番 0
相手番号 0249441221
・ポーズを入力する場合は [] を押してください。
表示は「P」になります。
- グループ可変短縮
短縮番号 : 00
特番発信
00249441221
内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ (決定) 押す。 → 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで
登録終了なら→ (決定) 押す。 → 操作②に戻るので [終了] 押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら→ [戻る] 押す。 → [戻る] 押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

グループ短縮ダイヤルを編集する

①

1	短縮ダイヤル
2	ボタン発信
3	外線名称

登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→
決定 押す。

②

1	短縮ボタン発信
2	特番発信

「1短縮ボタン発信」を選択→
決定 押す。

③

短縮番号?
00■

短縮番号を入力→
決定 押す。

④

グループ可変短縮
短縮番号:00
特番発信
00249441221

決定 押す。

⑤

1	登録
2	編集
3	消去

「2編集」選択→
決定 押す。

⑥

グループ可変短縮
短縮番号:00
1 特番発信
2 00249441221

「1 特番発信」選択→
決定 押す。

・相手番号を編集するときは電話番号を選択し、
決定 押して操作⑥に進む。

⑦

発信種別?
特番発信
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出用

目的の種別を選択→
決定 押す。
(例) 「2 外線発信」

⑧

個人可変短縮
短縮番号:80
1 特番発信
2 00249441221

「2 00249441221」選択→
決定 押す。

⑨

相手番号?
00249441221
00249441359■

相手番号を修正して→
決定 押す。
(例) 0249441359

・ポーズを入力する場合は [] を押してください。
表示は「P」になります。

! 「外線発信」を選択の場合、「相手番号」には
発信特番を指定しないでください。

⑩

グループ可変短縮
短縮番号:00
外線発信
0249441359

内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで
登録終了なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので→ 終了 押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら→ 戻る 代理応答 押す。 → 戻る 代理応答 押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

システム短縮ダイヤルを確認する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 短縮ダイヤル |
| 2 | ボタン名称 |
| 3 | 内線名称 |
- 登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→
決定 押す。
- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 短縮ボタン発信 |
| 2 | 特番発信 |
- 「1短縮ボタン発信」を選択→
決定 押す。
- ③
- | |
|-------|
| 短縮番号？ |
| 00■ |
- 短縮入力入力→
決定 押す。
- ④
- | |
|-------------|
| システム短縮 |
| 短縮番号：00 |
| 特番発信 |
| 00249441221 |
| 田中 |
| けん |
- 内容を確認する。

続けて確認なら→戻る 代理応答 押す。 → 操作③に戻るので続けて確認。

確認終了なら→終了 押す。 → 待受画面に変わります。

支店番号システム短縮ダイヤルを確認する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 短縮ダイヤル |
| 2 | ボタン名称 |
| 3 | 内線名称 |
- 登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→
決定 押す。
- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 短縮ボタン発信 |
| 2 | 特番発信 |
- 「2特番発信」を選択→
決定 押す。
- ③
- | |
|------------|
| 特番 + 短縮番号？ |
| 7123456■ |
- 短縮発信特番 + 支店番号
を入力→決定 押す。
- (例) 短縮発信特番 7
支店番号 123456
- ④
- | |
|---------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード：7123456 |
| 00249441359 |
- 内容を確認する。

続けて確認なら→戻る 代理応答 押す。 → 操作③に戻るので続けて確認。

確認終了なら→終了 押す。 → 待受画面に変わります。

機能ボタンを登録する

フリーファンクションボタンに下記の機能ボタンを登録できます。

- オートダイヤル
- 外線ワンタッチ
- 内線ワンタッチ
- 自己保留
- 転送完了
- DISC
- キャンセル
- セーブダイヤル
- メッセージウエイト
- 他グループピックアップ

その他の機能ボタンについて

上記の10種類の機能ボタンは各電話機から登録できるものですが、これ以外にも機能ボタンの種類(P.58)があり、これについては販売店により設定されます。このボタンについては各電話機からは確認だけすることができます。

①

1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称

登録モードから

「2 ボタン」を選択→



②

登録 / 消去するボタン を押して下さい

③ 空いているフリーファンクションボタンを押す。

(例) ボタン1



④

ボタン番号 : 01 未登録



⑤

1 登録 / 編集
2 消去

「1 登録 / 編集」を選択→



⑥

ボタン種別 ?
1 オートダイヤル
2 外線ワンタッチ
3 内線ワンタッチ
4 自己保留 >

目的のボタン名を選択→



▶ で次画面を、
◀ で前画面を
表示します。

ボタン種別 ?
1 転送完了
2 DISC
3 キャンセル
4 セーブダイヤル <>


ボタン種別 ?
1 メッセージウエイト
2 他グループピックアップ <

● 目的のボタン選択後の表示内容はP.57を参照してください。


- オートダイヤル
- 外線ワンタッチ
- 内線ワンタッチ
- 自己保留
- 転送完了
- DISC
- キャンセル
- セーブダイヤル
- メッセージウエイト
- 他グループピックアップ

オートダイヤル

- ① 相手番号？
- 相手番号を入力→
(決定) 押す。
(例) 123456
- 123456 ■


・ボーズを入力する場合は  を押してください。
表示は「P」になります。

! 相手番号が外線発信等の場合は、
特番を含めて登録してください。

- ② ボタン番号：01
オートダイヤル
123456
- (決定) 押すとボタンが登録
されて、P.56の操作②に
戻ります。
- ・入力し直すときは  押す。


外線ワンタッチ

- ① 短縮番号？
- 短縮番号を入力→
(決定) 押す。
(例) *01
- *01 ■

- ② ボタン番号：01
外線ワンタッチ
*01
- (決定) 押すとボタンが登録
されて、P.56の操作②に
戻ります。
- ・入力し直すときは  押す。

内線ワンタッチ

- ① 内線番号？
- 内線番号を入力→
(決定) 押す。
(例) 2001
- 2001 ■

- ② ボタン番号：01
内線ワンタッチ
2001
- (決定) 押すとボタンが登録
されて、P.56の操作②に
戻ります。
- ・入力し直すときは  押す。

自己保留

- ① ボタン番号：01
自己保留
- (決定) 押すとボタンが登録
されて、P.56の操作②に
戻ります。

転送完了

- ① ボタン番号：01
転送完了
- (決定) 押すとボタンが登録
されて、P.56の操作②に
戻ります。

DISC

- ① ボタン番号：01
DISC
- (決定) 押すとボタンが登録
されて、P.56の操作②に
戻ります。

キャンセル

- ① ボタン番号：01
キャンセル
- (決定) 押すとボタンが登録
されて、P.56の操作②に
戻ります。


セーブダイヤル

- ① ボタン番号：01
セーブダイヤル
- (決定) 押すとボタンが登録
されて、P.56の操作②に
戻ります。

メッセージウェイト

- ① ボタン番号：01
メッセージウェイト
- (決定) 押すとボタンが登録
されて、P.56の操作②に
戻ります。

他グループピックアップ

- ① ボタン番号：01
- グループ番号を入力→
(決定) 押す。
(例) 225
- 225 ■
- ② ボタン番号：01
他グループピックアップ
グループ番号：255
- (決定) 押すとボタンが登録
されて、P.56の操作②に
戻ります。
- ・入力し直すときは  押す。

各電話機からの 登録操作(つづき)

販売店の設定による登録機能ボタン一覧

販売店によって設定されている機能ボタンの内容は下記のように表示されます(これは一例です)。

ボタン番号 : 01 ストレートライン 収容位置 : 01200	ボタン番号 : 01 バーチャル発信	ボタン番号 : 01 バーチャル着信	ボタン番号 : 01 他テナントバーチャル テナント番号 : 012
ボタン番号 : 01 共通保留番号 : 010	ボタン番号 : 01 仮想局線番号 : 20000 仮想番号 : 01	ボタン番号 : 01 仮想内線番号 : 54321 仮想番号 : 01	ボタン番号 : 01 出退表示/用務 付加情報 : 01
ボタン番号 : 01 マイク	ボタン番号 : 01 ルート電話中 ルート番号 : 002	ボタン番号 : 01 PB送出 123456789#	ボタン番号 : 01 出退表示 種別 : 1 内線/コード : 2222
ボタン番号 : 01 社員BOX (暗証なし) BOX番号 : 2000	ボタン番号 : 01 社員BOX (暗証あり) BOX番号 : 2000	ボタン番号 : 01 着信拒否	ボタン番号 : 01 メッセージウェイトンク*
ボタン番号 : 01 モード切替番号 : 001	ボタン番号 : 01 番号変換 グループ番号 : 000	ボタン番号 : 01 クート番号変換 モード1番号 : 000	ボタン番号 : 01 テナント統合 テナント番号 : 000
ボタン番号 : 01 VIP呼出	ボタン番号 : 01 オートリトライ	ボタン番号 : 01 モニター割込	ボタン番号 : 01 モード切替 グループ番号 : 01
ボタン番号 : 01 受話器外し表示	ボタン番号 : 01 ハウラー送出	ボタン番号 : 01 ダイヤルアップモード切替 グループ1番号 : 01	ボタン番号 : 01 ダイヤルアップモード切替 グループ1番号 : 000
ボタン番号 : 01 呼出停止内線表示	ボタン番号 : 01 モニタリングコール 呼出停止内線表示	ボタン番号 : 01 プリセット	ボタン番号 : 01 録音
ボタン番号 : 01 コメント	ボタン番号 : 01 終了	ボタン番号 : 01 取消	ボタン番号 : 01 ポーズ
ボタン番号 : 01 メッセージ転送	ボタン番号 : 01 出退表示登録 種別 : 1	ボタン番号 : 01 指令グループ番号 : 01	ボタン番号 : 01 被指令番号 : 2000 内線番号 : 2000

内線名称を登録する

- ① 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称

登録モードから

「3 内線名称」を選択→

 押す。

- ② 内線名称
未登録

 押す。

・内線名称が登録されている場合は、その旨が表示されます。

- ③ 1 登録 / 編集
2 消去

「1 登録/編集」を選択→

 押す。

- ④ 内線名称？

鈴木 ■


漢全


名称を入力→


 押す。


- ⑤ 内線名称
鈴木

・内線名称が登録されます。

内容OKなら→  押す。

操作①に戻るので→  押す。
待受画面に変わります。

内容修正なら→  押す。

 押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

MEMO



第6章

特定電話機



この章は、特定電話機からの登録内容についての説明です。

- この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。
- この章の内容を操作している場合に、説明と違う表示になったときは、第8章「こんなメッセージが出たら」(P. 86)をご覧ください。

特定電話機からの登録操作



特定電話機から、通常の電話機能以外に下記の項目について登録することができます。

登録項目について

- 登録するためのモードは、登録モードから入るものと、特定モードにしてから入る2通りがあります。
- 特定電話機としての設定は販売店が行います。特定電話機を確認するとともに、設定台数をお確かめください。

項目	モード	内容
1 システム短縮ダイヤルの登録/編集 ※	登録モード	全内線が共通で使用できるシステム短縮ダイヤルの登録/編集です。
2 支店番号システム短縮ダイヤルの登録/編集 ※		短縮番号の代わりに、支店番号でシステム短縮ダイヤル発信できる機能を設定している場合の登録/編集です。
3 日付設定	特定モード	画面に表示されるカレンダーの、年、月、日、曜日の設定です。
4 時刻設定		画面に表示される時刻の設定です。
5 内線名称登録 ※		内線発信時、発信側の内線番号に替わって名称で表示するための登録です。
6 席の入替移動		複数内線の席の入れ替えの登録です。
7 発信停止		内線の発信停止登録、解除、確認です。

※登録したデータは、定時ダンプによって交換機に記憶されます。

登録モードにする

上記項目を操作するために、次のモードにしてください。

待機画面

①

内線番号	3000
05月16日(月)	13:22
着信音量	■■■■□□□

待機画面で
 押す。

特定モード

⑤

1	日付	時刻
2	時刻	名称
3	内線	名称
4	席替	入
5	発信	止
6	発信	止

登録解除
表示



P.66~68の内容は、この画面にしてからの操作になります。

トップメニュー

②

1	電話帳
2	履歴
3	電話機設定 1
4	電話機設定 2
5	ロック
6	アラーム

「4 電話機設定2」を
 選択→ 押す。

登録モード

④

1	短縮ダイヤル
2	ボタンの名称
3	内線名称



P.63~65の内容は、この画面にしてからの操作になります。

登録モード画面から

を長押し(3秒以上)する。

システム短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する"システム短縮ダイヤル"と各内線が独自に使用できる"個人可変短縮ダイヤル"と、グループ内の内線で共通に仕様できる"グループ可変短縮ダイヤル"があります。

短縮番号について

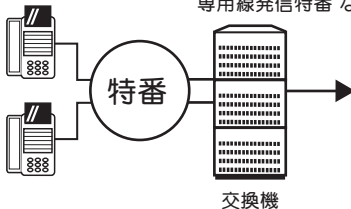
「システム短縮/可変短縮ダイヤル」(P.15)を参照して、短縮番号がどう設定されているかを販売店に確認してください。

発信種別を確認してください

システムが下記のどの発信種別になっているかを販売店に確認してください。

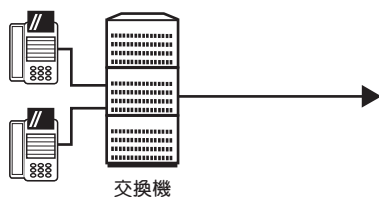
かけるときに特番が必要

- 特番発信 (例) 外線発信特番
LCR発信特番
専用線発信特番 など



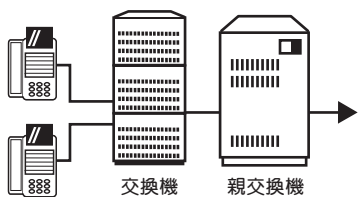
外線に直接かけられる

- 外線発信



親交換機を介してかける

- 親PBX発信



- 1 短縮ダイヤル
2 ボタン
3 内線名称

登録モードから

「1短縮ダイヤル」を選択→

押す。

- 1 短縮ボタン発信
2 特番発信

「1短縮ボタン発信」を選択→

押す。

- 短縮番号?
00■
短縮番号を入力→
 押す。
- システム短縮
短縮番号 : 00
未登録
 押す。
- 1 登録
2 編集
3 消去
「1登録」選択→
 押す。
- 発信種別?
1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信
4 PB送出
いずれか選択→
 押す。
(例) 「1特番発信」選択
- 相手番号?
00249441221■
相手番号を入力→
 押す。
(例) 発信特番 0
相手番号 0249441221
- 名称?
田中■
漢全
名称を入力→ 押す。
文字入力 (P.76)
- 読み仮名?
田中■
か半
読み仮名を入力→ 押す。
- システム短縮
短縮番号 : 00
特番発信
00249441221
田中
田中
内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ 押す。

→ 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで
登録終了なら→ 押す。


→ 操作②に戻るので 押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら→ 押す。

→ 押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

システム短縮ダイヤルを編集する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 短縮ダイヤル |
| 2 | ボタン |
| 3 | 内線名称 |
- 登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→
(決定) 押す。
- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 短縮ボタン発信 |
| 2 | 特番発信 |
- 「1短縮ボタン発信」を選択→
(決定) 押す。
- ③
- | |
|-------|
| 短縮番号？ |
| 00■ |
- 短縮番号を入力→
(決定) 押す。
- ④
- | |
|-------------|
| システム短縮 |
| 短縮番号：00 |
| 外線発信 |
| 00249441221 |
- (決定) 押す。
- ⑤
- | | |
|---|----|
| 1 | 登録 |
| 2 | 編集 |
| 3 | 消去 |
- 「2編集」選択→
(決定) 押す。
- ⑥
- | | |
|---------|-------------|
| システム短縮 | |
| 短縮番号：00 | |
| 1 | 外線発信 |
| 2 | 00249441221 |
- 編集項目を選択→
(決定) 押す。
(例) 「1 外線発信」
- ⑦
- | | |
|-------|--------|
| 発信種別？ | |
| 特番発信 | |
| 1 | 特番発信 |
| 2 | 外線発信 |
| 3 | 親PBX発信 |
| 4 | PB送出用 |
- 目的の種別を選択→
(決定) 押す。
(例) 「1 特番発信」
- ⑧
- | | |
|---------|-------------|
| システム短縮 | |
| 短縮番号：00 | |
| 1 | 特番発信 |
| 2 | 00249441221 |
| 3 | |
| 4 | |
- 「2 00249441221」選択→
(決定) 押す。
- ⑨
- | |
|--------------|
| 相手番号？ |
| 00249441221 |
| 00249441359■ |
- 相手番号を修正して→
(決定) 押す。
(例) 0249441359

・ポーズを入力する場合は  を押してください。
表示は「P」になります。

! 「外線発信」を選択の場合、「相手番号」には
発信特番を指定しないでください。

- ⑩
- | | |
|---------|-------------|
| システム短縮 | |
| 短縮番号：00 | |
| 1 | 外線発信 |
| 2 | 00249441359 |
| 3 | |
| 4 | |
- 「3」を選択→
(決定) 押す。
- ⑪
- | |
|------|
| 名称？ |
| 佐藤 ■ |
| 漢全 |
- 名称を修正→ (決定) 押す。
(例) 佐藤
文字入力(P.76)
- ⑫
- | | |
|---------|-------------|
| システム短縮 | |
| 短縮番号：00 | |
| 1 | 外線発信 |
| 2 | 00249441359 |
| 3 | 佐藤 |
| 4 | |
- 「4」を選択→
(決定) 押す。
- ⑬
- | |
|-------|
| 読み仮名？ |
| サウ ■ |
| か半 |
- 読み仮名を修正→
(決定) 押す。
- ⑭
- | |
|-------------|
| システム短縮 |
| 短縮番号：00 |
| 特番発信 |
| 00249441359 |
| 佐藤 |
| サウ |
- 内容を確認する。

内容OKで
続けて編集なら→ (決定) 押す。 → 操作②に戻るので続けて編集。

内容OKで
編集終了なら→ (決定) 押す。 → 操作②に戻るので  押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら→  押す。 →  押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

支店番号システム短縮ダイヤルを登録する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 短縮ダイヤル |
| 2 | ボタン |
| 3 | 内線名称 |
- 登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→
決定 押す。
- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 短縮ボタン発信 |
| 2 | 特番発信 |
- 「2特番発信」を選択→
決定 押す。
- ③
- | |
|-------------|
| 特番 + 短縮番号 ? |
| 7123456 ■ |
- 短縮発信特番 + 支店番号
を入力→ 決定 押す。
(例) 短縮発信特番 7
支店番号 123456
- ④
- | |
|-----------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード : 7123456 |
| 未登録 |
- 決定 押す。

- ⑤
- | | |
|---|----|
| 1 | 登録 |
| 2 | 編集 |
| 3 | 消去 |
- 「1登録」選択→
決定 押す。
- ⑥
- | |
|---------------|
| 相手番号 ? |
| 00249441221 ■ |
- 相手番号を入力→
決定 押す。
(例) 発信特番 0
相手番号 0249441221
- ・ボーズを入力する場合は を押してください。
表示は「P」になります。
- ⑦
- | |
|-----------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード : 7123456 |
| 00249441221 |
- 内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで
登録終了なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので 押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら→ 押す。 → 押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

支店番号システム短縮ダイヤルを編集する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 短縮ダイヤル |
| 2 | ボタン |
| 3 | 内線名称 |
- 登録モードから
「1短縮ダイヤル」を選択→
決定 押す。
- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 短縮ボタン発信 |
| 2 | 特番発信 |
- 「2特番発信」を選択→
決定 押す。
- ③
- | |
|-------------|
| 特番 + 短縮番号 ? |
| 7123456 ■ |
- 短縮発信特番 + 支店番号
を入力→ 決定 押す。
(例) 短縮発信特番 7
支店番号 123456
- ④
- | |
|-----------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード : 7123456 |
| 00249441221 |
- 決定 押す。
- ⑤
- | | |
|---|----|
| 1 | 登録 |
| 2 | 編集 |
| 3 | 消去 |
- 「2編集」選択→
決定 押す。

- ⑥
- | |
|-----------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード : 7123456 |
| 1 00249441221 |
- 「1 00249441221」を選択→
決定 押す。
- ⑦
- | |
|---------------|
| 相手番号 ? |
| 00249441221 |
| 00249441254 ■ |
- 相手番号を修正→
決定 押す。
(例) 発信特番 0
相手番号 0249441254
- ・ボーズを入力する場合は を押してください。
表示は「P」になります。
- ⑧
- | |
|-----------------|
| 店番短縮 |
| 短縮コード : 7123456 |
| 00249441254 |
- 内容を確認する。

内容OKで
続けて編集なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので続けて編集。

内容OKで
編集終了なら→ 決定 押す。 → 操作②に戻るので 押す。
待受画面に戻ります。

内容修正なら→ 押す。 → 押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

日付を設定する

①

1	日付
2	時刻
3	内線名称
4	席替
5	発信停止登録解除
6	発信停止表示

特定モードから
「1 日付」選択 → (決定) 押す。

②

年月日曜						
0510017						
0510017						
曜日入力						
1: 日	2: 月	3: 火	4: 水			
5: 木	6: 金	7: 土				

現在設定されている日付が表示されます。
設定エリアに日付を入力する。

確認エリア: 設定されている日付です。
設定エリア: 日付を設定するエリアです。

ヒント 確認エリアと設定エリアは同日付を表示します。

③

年月日曜						
0510017						
0510017						
曜日入力						
1: 日	2: 月	3: 火	4: 水			
5: 木	6: 金	7: 土				

▶ 押してカーソルを変更箇所へ当てる。

④

年月日曜						
0510017						
0						
曜日入力						
1: 日	2: 月	3: 火	4: 水			
5: 木	6: 金	7: 土				

クリア (不在) を6回押して消す。

クリア (不在) を押すと1桁消えます。
クリア (不在) 長押し(3秒以上)で全桁消えます。

⑤

年月日曜						
0510017						
0603235						
曜日入力						
1: 日	2: 月	3: 火	4: 水			
5: 木	6: 金	7: 土				

日付を入力する。
(決定) 押す。

(例) 2006年3月23日(木曜日)
年 月 日 曜
(2桁) (2桁) (2桁) (1桁)
06 03 23 5

⑥

年月日曜						
0603235						

(決定) 押す。

⑦

06年03月23日木曜						
-------------	--	--	--	--	--	--

終了 (決定) を押すと待機状態に戻ります。

時刻を設定する

①

1	日付
2	時刻
3	内線名称
4	席替
5	発信停止登録解除
6	発信停止表示

特定モードから
「2 時刻」選択 → (決定) 押す。

②

時分	
1325	
1325	

現在設定されている時刻が表示されますので、設定エリアに時刻を入力する。

確認エリア: 設定されている時刻です。
設定エリア: 時刻を設定するエリアです。

ヒント 確認エリアと設定エリアは同時刻を表示します。

③

時分	
1325	
1325	

▶ 押してカーソルを変更箇所へ当てる。

④

時分	
1325	
1	

クリア (不在) を3回押して消す。

クリア (不在) を押すと1桁消えます。
クリア (不在) 長押し(3秒以上)で全桁消えます。

⑤

時分	
1325	
1455	

時刻を入力して
(決定) 押す。

(例) 14時55分
時 分
(2桁) (2桁)
14 55

⑥

時分	
1455	

(決定) 押す。

⑦

14時55分	
--------	--

終了 (決定) を押すと待機状態に戻ります。

内線名称を登録する

発信者側の番号に代わって名称を通知できます。

- ①

1	日付時刻
2	時刻
3	内線名称
4	席入替
5	発信停止登録解除
6	発信停止表示

 特定モードから
 「3 内線名称」選択
 → (決定) 押す。
- ②

内線番号？
2000■

 内線番号を入力→
 (決定) 押す。
- ③

内線番号：2000

 (決定) 押す。
- ④

1 登録 / 編集
2 消去

 「1 登録/編集」を選択→
 (決定) 押す。
- ⑤

内線名称？
鈴木 ■
漢全

 名称を入力→
 (決定) 押す。
- ⑥

内線番号：2000
鈴木

 内容を確認する。

内容OKで
 続けて登録なら→ (決定) 押す。 → 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで
 登録終了なら→ (決定) 押す。 → 操作②に戻るのので (終了) 押す。
 待受画面に戻ります。

内容修正なら→ (戻る) 押す。 → (戻る) 押す毎に1画面ずつ
 さかのぼります。
 目的の画面を表示させて修正する。

席入替えを登録する

【IP多機能電話機では利用できません。】

席替えしても今まで使用していた内線番号が使えます。

(例) A、B、Cさんを下記のように席替える。

座席1	Aさん (内線：2001)	座席1	Cさん (内線：2003)
座席2	Bさん (内線：2002)	座席2	Aさん (内線：2001)
座席3	Cさん (内線：2003)	座席3	Bさん (内線：2002)

- ①

1	日付時刻
2	時刻
3	内線名称
4	席入替
5	発信停止登録解除
6	発信停止表示

 特定モードから
 「4 席入替」を選択→
 (決定) 押す。
- ②

暗証番号？
■

 暗証番号を入力→
 (決定) 押す。
 ・暗証番号が無い場合は (決定) を押してください。
- ③

入替開始内線？
2001■

 「2001」を選択→
 (決定) 押す。
- ④

入替内線：2001
移動先内線？
2002■

 「2002」を選択→
 (決定) 押す。
- ⑤

入替内線：2002
移動先内線？
2003■

 「2003」を選択→
 (決定) 押す。
- ⑥

入替内線：2003
移動先内線？
2001■

 「2001」を選択→
 (決定) 押す。
- ⑦

席替確認
1 実行
2 キャンセル

 「1 登実行」を選択→
 (決定) 押す。
- ⑧

席替完了

 (終了) を押す。
 待受画面に変わります。

特定電話機からの登録操作(つづき)

発信停止を登録する

内線電話機からの発信を停止できます。

①

1	日付
2	時刻
3	内線名称
4	席替
5	発信停止登録解除
6	発信停止表示

特定モードから
「5 発信停止登録解除」を選択→ 押す。

②

内線番号 ?
2000■

内線番号を入力→
 押す。
(例) 2000

③

発信停止号 : 2000
内線未登録

押す。

④

1	登録
2	解除

「1 登録」を選択→
 押す。

⑤

発信停止号 : 2000
内線登録

内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ 押す。 → 操作②に戻るので続けて登録。

内容OKで
登録終了なら→ 押す。 → 操作②に戻るので→ 押す。
待受画面に戻ります。

発信停止を解除する

内線電話機からの発信停止を解除できます。

①

1	日付
2	時刻
3	内線名称
4	席替
5	発信停止登録解除
6	発信停止表示

特定モードから
「5 発信停止登録解除」を選択→ 押す。

②

内線番号 ?
2000■

内線番号を入力→
 押す。
(例) 2000

③

発信停止号 : 2000
内線登録中

押す。

④

1	登録
2	解除

「2 解除」を選択→
 押す。

⑤

発信停止号 : 2000
内線解除

内容を確認する。

内容修正なら→ 押す。 → 押す毎に1画面ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

発信停止の登録内線を確認する

発信停止を登録をしている内線を確認できます。

①

1	日付
2	時刻
3	内線名称
4	席替
5	発信停止登録解除
6	発信停止表示

特定モードから
「6 発信停止表示」を選択→ 押す。

②

発信停止表示

2000	2001	2002
2003	2004	2005
2006	2007	2008
2009	2010	2011
2012		

(これは表示例です。)
・登録がある場合はこのような表示になります。
・登録がない場合は操作③の表示になります。

③

発信停止表示
表示終了

押す。



第 7 章

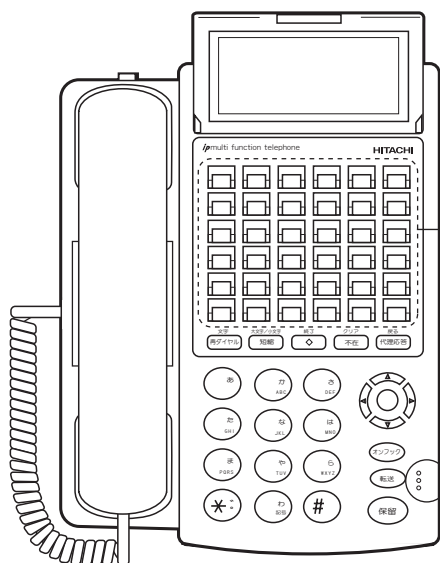
その他の電話機



この章は、ハンズフリー付電話機の独自機能についての説明です。

ハンズフリー付電話機

この電話機は、受話器を置いたまま通話できます。



マイクボタン(1個)

マイクをON/OFF
するボタンです。

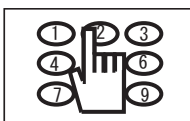
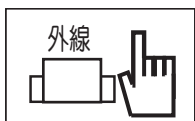
マイク

- 取付時に販売店が設定しますので位置をお確かめください。
- マイクボタンにマイクシール(添付品)を貼ってご使用ください。
- ハンズフリーで通話する場合は、あらかじめマイクボタンをONにしておいてください。

- マイクとの距離は1m以内でお話ください。

外線にかける

外線発信

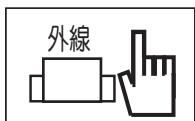
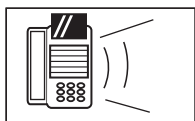


1. オンフックボタンを押す。
2. 外線ボタンを押す。
3. 相手番号を押す。

- あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

外線からの電話を受ける

外線応答

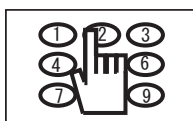


- 着信音が鳴る。
1. 速い赤点滅している外線ボタンを押す。

- あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

内線にかける

内線発信

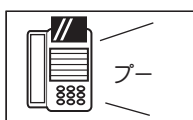


1. オンフックボタンを押す。
2. 相手内線番号を押す。

● あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

内線からの電話を受ける

内線応答



- 着信があるとすぐに冒頭音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
 2. 通話する。

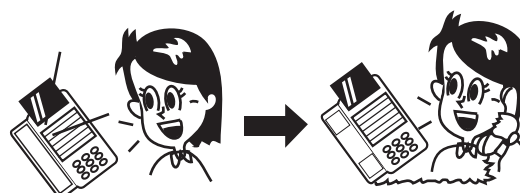
● あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

相手にこちらの声を聞かせたくない場合



1. マイクボタンを押す。
マイクランプが消えます。
2. 相手の声は聞こえますが、相手にはこちらの声は聞こえません。
3. 再度マイクボタンを押すと元の状態に戻ります。

ハンズフリー通話から受話器通話にする場合



1. ハンズフリー通話中に受話器を上げる。
2. ハンズフリー通話に戻す場合はオンフックボタンを押してから受話器を戻す。

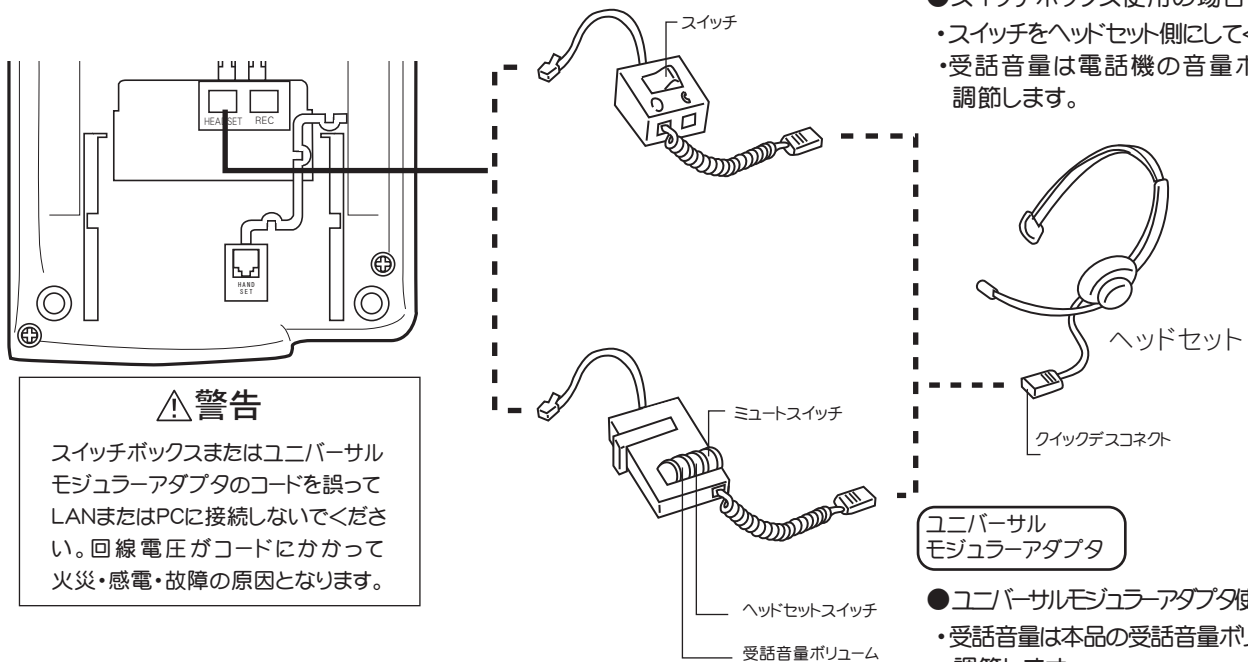
ハンズフリー通話中のご注意

- 通話は交互に行ってください。双方が同時に通話したり、相手の話しが終わらないうちに話しかけると、声かとぎれる場合があります。
- マイクとの距離は1m以内でお話してください。
- ハウリングが発生する場合は、受話器を使って通話してください。

ヘッドセットで通話する

受話器の代わりにヘッドセットを使って通話できます。

ヘッドセットを接続するには電話機の改造が必要です。
販売店にご用命ください。



スイッチボックス

- スイッチボックス使用の場合
- ・スイッチをヘッドセット側にしてください。
- ・受話音量は電話機の音量ボタンで調節します。

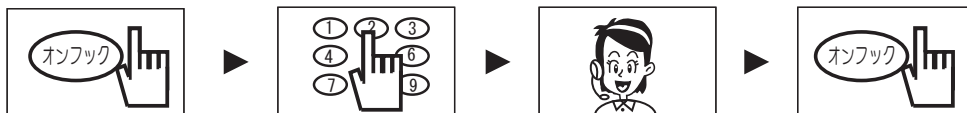
ユニバーサルモジュラーアダプタ

- ユニバーサルモジュラーアダプタ使用の場合
- ・受話音量は本品の受話音量ボリュームで調節します。

警告

スイッチボックスまたはユニバーサルモジュラーアダプタのコードを誤ってLANまたはPCに接続しないでください。回線電圧がコードにかかって火災・感電・故障の原因となります。

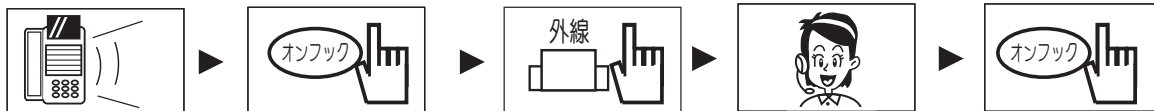
電話をかける



1. オンフックボタンを押す。
2. 相手番号を押す。
3. 通話する。
4. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

電話を受ける

■ 外線からの電話に应答する



- 着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 速い赤点滅の外線ボタンを押す。
3. 通話する。
4. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

■ 内線からの電話に应答する

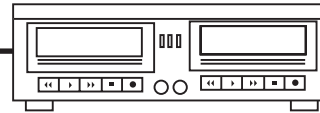
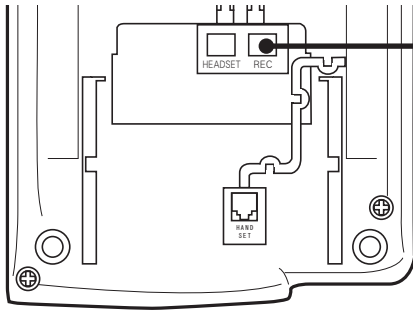


- 着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 通話する。
3. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

通話を録音する

通話録音

市販の録音機器を接続して通話を録音できます。

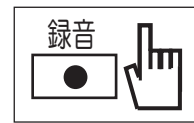


録音機器 (市販品)

取り付けにあたっては
販売店にご用命ください。



通話中に...



1. 録音機器の
録音ボタン
を押す。

MEMO



第 8 章

付録



この章は、参照内容や電話機の仕様などについての説明です。

文字入力

各ボタンの文字割り当て(P.77)を参照してください。

漢字／ひらがな

入力モードを「漢全」にする。 **漢全**

① 名前？
■
漢全

入力モード

② さとう
漢全

「読み」を入力する。
(例) さとう

- ・入力した読みを「ひらがな」で確定するときは **決定** を押す。
- ・同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは **▶** でカーソルを移動させてから入力する。
- ・入力した読みを漢字変換するときは **▲/▼** で候補を表示させる。

③ さとう
1 佐藤
2 砂糖
3 サトウ
4 さとう

候補を選択して→
決定 を押す。
(例) 1佐藤

④ 名前？
佐藤 ■
漢全

・操作②③を繰り返して文字を入力する。

濁点、半濁点の入力

(例) が

1. カーソルを合わせる。
2. **※** を押して濁点、半濁点を付ける。
3. これで、「が」になりました。

・カタカナ半角の場合は濁点、半濁点も半角1文字が使われますので、通常通りの入力になります。

スペース入力

スペースは半角だけです。全角はありません。

1. 「か」を入力してカーソルを右に移す。
 2. 再度カーソルを右に移す。
 3. これで、半角スペースができました。
- 半角スペース

直接入力文字

入力モードを「漢全」以外にする。

加全 **英全** **数全** **加半** **英半** **数半**

① 名前？
■
加全

任意の文字を入力する。

② 名前？
サトウ A B C 1 2 **3**
数半

・同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは **▶** でカーソルを移動させてから入力する。

文字削除

■ 1文字削除

① 名称？
田中一郎 A B C 1 2 3
漢全

削除する文字にカーソルを合わせ→ **不在** を押す。

名称？
田中 **□** A B C 1 2 3
漢全

・1文字削除されて文字間が詰まります。

■ 全削除

① 名称？
田中一郎 A B C 1 2 3
漢全

不在 を長押し(3秒以上)する。

名称？
■
漢全

・全文字削除されます。

各ボタンの文字割り当て

文字

再ダイヤル を押すと次の順に入力モードが換わります。



始めに入力モードを選択し、下表にしたがって各ボタンを必要回数押して目的の文字を入力します。

文字種 ボタン	漢全 (漢字全角)	加全 (加加全角)	英全 (英字全角)	数全 (数字全角)	加半 (加加半角)	英半 (英字半角)	数半 (数字半角)
	漢 あ	ア	A	1	ア イ	AB	12
1 あ	→ あいうえお	→ アイウエオ	—	1	→ アイウエオ	—	1
2 あ ABC	→ かきくけこ	→ カキクケコ	→ ABC	2	→ カキクケコ	→ ABC	2
3 さ DEF	→ さしすせそ	→ サシスセソ	→ DEF	3	→ サシスセソ	→ DEF	3
4 た GHI	→ たちつてと	→ タチツテト	→ GHI	4	→ タチツテト	→ GHI	4
5 な JKL	→ なにぬねの	→ ナニヌネノ	→ JKL	5	→ ナニヌネノ	→ JKL	5
6 は MNO	→ はひふへほ	→ ハヒフヘホ	→ MNO	6	→ ハヒフヘホ	→ MNO	6
7 ま PQRS	→ まみむめも	→ マミムメモ	→ PQRS	7	→ マミムメモ	→ PQRS	7
8 や TUV	→ やゆよ	→ ヤユヨ	→ TUV	8	→ ヤユヨ	→ TUV	8
9 ら WXYZ	→ らりるれろ	→ ラリルレロ	→ WXYZ	9	→ ラリルレロ	→ WXYZ	9
0 わ 記号	→ わをんー、。・	→ ワヲンー、。・	→ , . - < > /	0	→ ワヲンー、。・	→ , . - < > /	0
*	—	—	—	*	→ *	—	*
#	—	—	—	#	—	—	#

小文字を表示させるには

大文字/小文字

文字入力中に、小文字のある文字種(下記)になったときは **短縮** を押す。

























< 小文字の文字種 >

あいうえお	っ	やゆよ	わ	abc	def	ghi	jkl	mno	pqrs	tuv	wxyz
アイウエオ	ッ	ヤユヨ	ワ								

十字ボタンの機能

十字キーの機能は右記のような内容です。

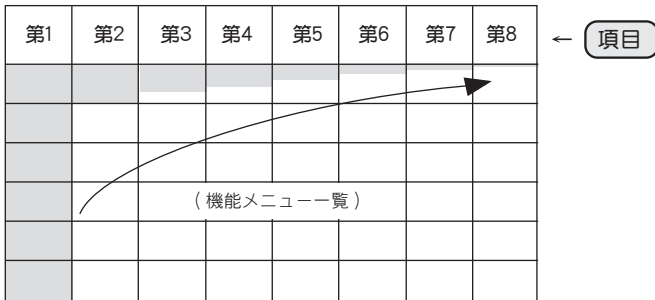


電話機の状態	カーソル機能
待機状態と通話中	 電話帳検索  発信履歴
発信履歴を利用中 (着信履歴)	  着信履歴 (発信履歴)
メニュー画面表示中	  メニュー選択  前候補表示  次候補表示
文字入力中	 カーソル左移動  カーソル右移動
漢字変換時	 末尾の候補  先頭候補
待機状態／着信中	  着信音量 ( : 大きく /  : 小さく)
スピーカモニタ中	  スピーカ音量 ( : 大きく /  : 小さく)
相手と通話中	  受話音量 ( : 大きく /  : 小さく)

機能メニューの表示

機能メニュー一覧(P.80)の内容を画面に表示させる操作概要です。

第1項目(トップメニュー)から順にその下の階層の項目(第2→第3・・・)を選択しています。選択していくにつれて階層が深くなっていきます。



●各画面では▲で上段、▼で下段の項目にカーソルが移動します。

<待機画面>

① 100 04月27日(水) 15:00 (決定) 押す。

着信音量 ■■■■■□□□

↓ この画面が表示されたときは電話機がロックされています。(ロック登録P.46)

パスワード? (決定) 押す。

パスワードを入力→

第1項目 <トップメニュー画面>

② 1 電話帳 項目選択して→ (決定) 押す。
 2 履歴 機設定 1
 3 履歴 機設定 2
 4 電話帳 機設定 2
 5 ロック解除
 6 アラーム

(例)1電話帳

第2項目

③ 1 検索 項目選択して→ (決定) 押す。
 2 登録ループロード
 3 グループロード
 4 ダウンロード

(例)1検索

第3項目

④ 1 名前検索 項目選択して→ (決定) 押す。
 2 メモリ番号検索
 3 グループ番号検索
 4 電話履歴番号検索
 5 読込履歴番号検索

(例)名前検索

第4項目

⑤ 名前? (決定) 押す。

■

漢全

↓

名前を入力→ (決定) 押す。

名前? (決定) 押す。

田中

漢全

文字入力(P.76)

第5項目

⑥ 1 田中一郎 項目選択して→ (決定) 押す。
 2 田中正
 3 田中恒夫

(例)1田中一郎

← (1/ 1) →

第6項目

⑦ 001 (決定) 押す。
 田中一郎
 ナカイチロウ
 1 002494413591234567
 2 00249441254
 3 0090123456789

第7項目

⑧ 1 発信番号選択 項目選択して→ (決定) 押す。
 2 変更
 3 消去
 4 全消去
 5 グループ消去

(例)1発信

第8項目

⑨ 1 002494413591234567
 2345678
 2 00249441254
 3 0090123456789

(決定) または (オンフック) 押すとダイヤルします。

機能メニュー一覧

機能メニューは次のような階層になっています。

[]内は入力になります。

トップメニュー	ネクストメニュー							初期値	備考		
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目	第6項目	第7項目	第8項目				
1 電話帳	1 検索	1 名前検索	[名前入力]	[電話帳選択]	[電話詳細表示]	1 発信番号選択	1 (電話番号1)		受話器を上げるか、オンフック押下で発信。 [電話帳選択]:カーソルの電話帳の電話番号に発信。 [電話帳詳細表示]電話番号に発信。 通話の転送。 [電話帳選択]/[電話帳詳細表示]/第8項目の電話番号の 選択中に転送ボタンを押す。 待機状態/通話中に▶でも起動。		
		2 メモリ番号検索	[メモリ番号入力]				2 (電話番号2)				
		3 グループ検索	[グループ選択]				3 (電話番号3)				
		4 電話番号検索	[電話番号入力]				2 変更			⇒登録へ	
		5 読み仮名検索	[読み仮名入力]				3 消去			1 いいえ 2 はい	
	2 登録	1 名前(必須)	[名前入力]							全角10文字、半角20文字まで入力可能。	
		2 読み仮名	[読み仮名入力]							半角カナ/英数字で10文字まで入力可能。	
		3 電話番号(必須)	1 電話番号1の特番	[特番入力]							5桁まで入力可能。
				2 電話番号1(必須)	[電話番号入力]						32桁まで入力可能(必須入力)。
				3 電話番号2/3へ	1 グループ登録へ						
			2 電話番号2	1 特番	[特番入力]						5桁まで入力可能。
				2 電話番号	[電話番号入力]						32桁まで入力可能。
			3 電話番号3	1 特番	[特番入力]						5桁まで入力可能。
	2 電話番号			[電話番号入力]						32桁まで入力可能。	
		4 グループ	[グループ選択]								
		5 着信音色	[着信音選択]							着信音優先順位①	
		6 確認	[電話帳表示]								
3 グループ	[グループ選択]	1 名称変更	[名称入力]					グループxx (xx:01~20)	推奨:全角9文字、半角18文字まで。		
		2 着信音色	[着信音選択]					無し	着信音優先順位②		
4 ダウンロード	1 短縮ダイヤル	[グループ選択]	[短縮ダイヤル入力]	[詳細情報表示]							
2 履歴	1 発信履歴	[発信履歴選択]	1 発信						受話器を上げるか、オンフック押下で発信。 [発信履歴選択]/[着信履歴選択]:表示中の電話番号に発信。 通話の転送。 [発信履歴選択]/[着信履歴選択]で履歴。 表示中に転送を押す。 待機状態/通話中に→で発信履歴が起動。 発信履歴表示中に→で着信履歴起動。		
			2 電話帳登録	⇒登録へ							
			3 1件消去	1 いいえ							
				2 はい							
	4 全消去	1 いいえ									
		2 はい									
	2 着信履歴	[着信履歴選択]	1 発信								
			2 電話帳登録	⇒登録へ							
			3 1件消去	1 いいえ							
				2 はい							
4 全消去			1 いいえ								
			2 はい								

機能メニュー一覧 (つづき)

[]内は入力になります。

トップメニュー	ネクストメニュー							初期値	備 考		
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目	第6項目	第7項目	第8項目				
3 電話機設定1	1 サウンド設定	1 着信音設定	1 着信種別毎音色	[着信種別選択]	[着信音選択]	[登録内容表示]		無し	着信音優先順位③		
			2 着信音鳴動条件設定	1 一般着信		1 スピーカ鳴動 2 ハンドセット鳴動			1 スピーカ鳴動	一般着信音の鳴動先を選択できます。 (Ver.05-02-01-01より対応)	
				2 ボタン着信		1 スピーカ鳴動 2 ハンドセット鳴動			1 スピーカ鳴動	ボタン着信音の鳴動先を選択できます。ただし、通話中のボタン着信音は鳴動しません。(Ver.05-02-01-01より対応)	
		2 保留音設定	1 保留音1 2 保留音2						保留音1		
		3 最小着信音	1 最小 2 消音						最小	着信音を消すことができます。	
		4 ボタンタッチ音	1 無し 2 有り						有り	ボタン操作時の音の有無を切替えます。	
		5 レベル設定	1 送話レベル	[レベル入力]						0	-12～12、設定時は管理者までお問い合わせください。
			2 受話レベル	[レベル入力]						-8	-12～12、設定時は管理者までお問い合わせください。
			3 側音レベル	[レベル入力]						51	0～32767、設定時は管理者までお問い合わせください。
			4 通話音量(ハンドセット)	1 小さく 2 大きく						3段目 (6段階)	6段階
			5 通話音量(スピーカ)	1 小さく 2 大きく						3段目 (6段階)	6段階
			6 着信音量(スピーカ)	1 小さく 2 大きく						3段目 (6段階)	6段階
		2 LCD設定	1 コントラスト	1 淡く 2 濃く 3 初期値						10段目 (20段階)	20段階
	2 バックライト明度		1 標準 2 省電力						標準	バックライト点灯時の明度を切替えます。	
	3 バックライト点灯時間		1 1分 2 3分 3 10分 4 消灯なし						無し	無操作で設定時間が経過すると、バックライトが消灯します。 (設定によらず、無操作後10秒で省電力点灯になります。)	
	4 バックライト着信時有無		1 点灯 2 消灯						点灯	着信時のバックライト点灯有無を設定します。	
	5 バックライト操作時有無		1 点灯 2 消灯						点灯	ボタン操作時のバックライト点灯有無を設定します。	
	3 履歴保存条件	1 発信履歴	1 外線発信履歴	1 保存する 2 保存しない					保存する	発信履歴に外線発信を保存するかどうかを切替えます。	
			2 専用線発信履歴	1 保存する 2 保存しない					保存する	発信履歴に専用線発信を保存するかどうかを切替えます。	
			3 内線発信履歴	1 保存する 2 保存しない					保存する	発信履歴に内線発信を保存するかどうかを切替えます。	
		2 着信履歴	1 着信通話履歴 2 不在着信履歴	1 保存する 2 保存しない					保存する	着信履歴に着信後に通話した相手を保存するかどうかを切替えます。 着信履歴に着信に回答できなかった相手を保存するかどうかを切替えます。	
	4 拡張機能	1 ヘッドセット付加	1 無し 2 有り						無し	設定時は管理者にお問い合わせください。	
		2 省電力モード設定	1 無効 2 有効						無効	省電力モードの有効/無効を切替えます。	
		3 省電力移行時間	1 1分 2 3分 3 10分 4 30分						30分	無操作後、設定時間が経過すると、バックライトとフリーファンクションボタンのランプが消灯します。	
		4 パスワード登録	[現パスワード入力]	[新パスワード入力]	[新パスワード入力]	[新パスワード入力]			0000	4~8桁	
	5 保守	1 MACアドレス参照	[MACアドレス表示]							電話機に設定されているMACアドレスを参照します。	
		2 自局IPアドレス参照	[IPアドレス表示]							電話機に設定されているIPアドレス等を参照します。	
		3 ソフトウェアバージョン情報	[バージョン情報]							電話機のソフトのバージョンを参照します。	
		4 通話品質表示	1 通話品質表示選択	1 音量表示 2 通話品質表示					音量表示	待機状態時の画面最下段の表示を切り替えます。	
		5 ログ	1 セーブ	1 はい 2 いいえ						通信ログを電話機に保存するようになります。	

機能メニュー一覧 (つづき)

[]内は入力になります。

トップメニュー	ネクストメニュー										初期値	備 考	
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目	第6項目	第7項目	第8項目	第9項目	第10項目	第11項目			
4 電話機設定2	1 短縮ダイヤル	1 短縮ボタン発信 2 特番発信	【短縮ダイヤル入力】 【特番+短縮番号入力】	登録内容表示	1 登録	1 特番発信 2 外線発信 3 親PBX発信 4 PB送出力	[相手番号入力]	[名称入力]	[読み仮名入力]	登録内容表示		名称、読み仮名はシステム短縮ダイヤルのみ	
					2 編集	1 発信種別	1 特番発信 2 外線発信 3 親PBX発信 4 PB送出力						
						2 相手番号	[相手番号入力]						
						3 名称	[名称入力]				システム短縮ダイヤルのみ		
					3 消去	1 キャンセル 2 消去						システム短縮ダイヤルのみ	
	2 ボタン	フリーファンクションボタン押下	登録内容表示	登録内容表示	1 登録/編集	1 オートダイヤル	[相手番号入力]	登録内容表示					
						2 外線ワンタッチ	[短縮番号入力]	登録内容表示					
						3 内線ワンタッチ	[内線番号入力]	登録内容表示					
						4 自己保留	登録内容表示						
						1 転送完了	登録内容表示						
						2 DISC	登録内容表示						
						3 キャンセル	登録内容表示						
						4 セーブダイヤル	登録内容表示						
1 メッセージウェイト						登録内容表示							
2 他グループピックアップ						[グループ番号入力]	登録内容表示				上記の機能以外は変更できません。		
3 内線名称	登録内容表示	1 登録/編集	[名称入力]	登録内容表示									
			2 消去	1 キャンセル 2 消去									
5 ロック	1 解除する 2 ロックする										解除する	メニュー、電話機、履歴起動時にパスワードが要求されるようになります。	
6 アラーム	1 設定時間の変更	[時分入力]									00:00	00:00~23:59	
	2 アラームの設定												
	3 アラームの解除												

こんなメッセージが出たら

第5章と第6章の内容を操作しているときに、操作内容に間違いがあると表示器に下記のようなメッセージが表示されます。その意味は次のとおりです。

メッセージ	内 容
短縮番号が違います。	短縮番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、短縮番号を修正してください。
特番+短縮番号が違います。	特番または短縮番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、特番または短縮番号を修正してください。
この電話機からは登録消去はできません。	お使いの電話機からは、登録内容表示はできますが、登録(変更)消去はできません。
相手番号が違います。	相手番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、相手番号を修正してください。
内線番号が違います。	内線番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、内線番号を修正してください。
グループ番号が違います。	グループ番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、グループ番号を修正してください。
既に他のボタンに設定されています。	登録しようとした機能が他のボタンに設定されているか、登録(変更)できない機能ボタンに変更されています。
年月日曜が違います。	年月日曜が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、年月日曜を修正してください。
時分が違います。	時分が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、時分を修正してください。
暗証番号が違います。	暗証番号が間違っています。[代理応答] ボタンで戻り、暗証番号を修正してください。
読み仮名を入力した場合は、名称入力が必要です。	短縮ダイヤルの名称が設定されていません。名称を設定してください。

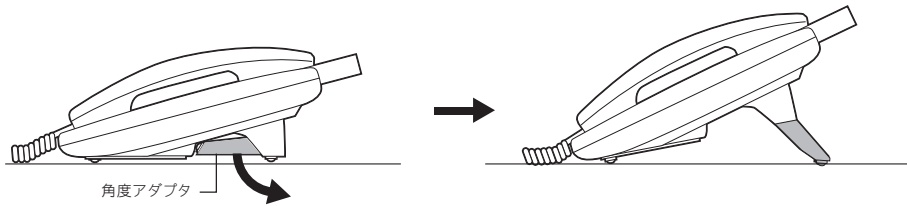
故障かな・・・と思ったら

現 象	原 因	対 処
「Now Loading…」と表示された。	電源がOFFになった。	しばらく待ってください。使用できる状態になります。
	リセットが発生した。	
	過大なトラヒックが加わった。	トラヒックが集中するような使い方は避けてください。
「Now Loading…」を繰り返す。	ネットワークに異常が発生した。	トラヒック量やネットワーク構成を確認してください。
「オフラインモード」と表示された。	主装置に接続しようとしています。	しばらく待ってください。使用できる状態になります。
	メニュー操作を行った。	
	誤ったデータが設定されている。	主装置との接続設定などを確認してください。
	主装置と接続できない。	トラヒック量やネットワーク構成を確認してください。

電話機角度／画面角度を変える

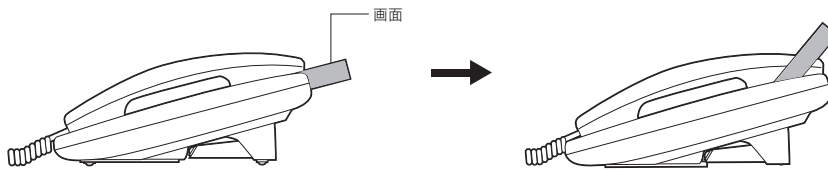
電話機の角度

角度アダプタを下記のように引き出すと電話機の角度を変えることができます。



画面の角度

画面は下記の角度内で任意の位置において使用できます。



別売品

この電話機はACアダプタが必要です。ACアダプタは別売品になっていますので、下記品名のものをお買い求めください。

ACアダプタ品名：HI-IPOBSADPB

⚠警告

ACアダプタは指定品を使用してください。指定品以外は火災・故障の原因となります。

主な仕様

環境条件	温度：0～40℃ 湿度15～85%(結露なきこと)
表示器	文字列：6行 1行当たりの文字数：半角で20 全角で10
	文字フォント：JIS第1水準、第2水準、JIS非漢字 6888字
LANインターフェース	種別：LAN 10BASE-T/100BASE-TX PC 10BASE-T/100BASE-TX コネクタ：RJ-45 ケーブル：カテゴリ5 UTP 接続最大長：100m 給電機能付きHUB※またはACアダプタ(別売品) ※ IEEE802.3afに対応している製品(電源ソース)から給電できます。
消費電力	約7W
外形寸法	約180(幅)×266(奥行)×94(高さ)mm
質量	約0.9kg

